

慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム

初版作成（第 1.0 版） 2016 年 2 月 1 日

（第 1.1 版） 2016 年 4 月 12 日

（第 2.0 版） 2017 年 5 月 29 日

（第 2.1 版） 2017 年 9 月 1 日



慶應サブスペ連動型外科研修プログラムのご紹介

新外科専門医制度においては、標準的な外科診療を安全・確実に実践し、国民の健康・福祉に貢献できる質の高い外科専門医を養成します。しかし、本プログラムではこの大きな目標にとどまることなく、さらに専門性の高い外科関連サブスペ領域専門医を目指す専攻医を募集します。基幹施設となる慶應義塾大学病院では、1920年の創設以来今日にいたるまで、外科学「大教室制度」を構築・堅持し、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科を担当する各診療科が一つの教室として一致協力して効率的な外科専門医養成システムを運営してきました。新専門医制度においては、この大教室制度の利点、経験を十分に生かして外科関連サブスペ領域と直結・連動したプログラムを構成しました。

研修1年目、2年目は豊富な手術症例数とレベルの高い指導医を擁する連携施設で徹底的に臨床経験を積み、3年目はそれぞれの専攻医が希望する外科関連サブスペ領域に重点をおいた研修、基礎・臨床研究、国際学会発表も含めた学術活動を開始し、世界に羽ばたく Academic Surgeonを養成致します。

特徴1：圧倒的な手術経験数：本プログラムでは豊富な手術症例数を有する基幹施設、連携施設において、3年間で外科専門医必要経験手術数（350例）のほぼ2倍の手術・診療経験ができます。

特徴2：バランスのとれた診療経験に基づく進路選択：本プログラムは創設以来外科学「大教室制度」を構築している慶應義塾大学病院とその連携施設において、各種外科関連サブスペ領域の研修をバランスよく経験した後に、希望の進路を選択できるシステムとなっています。

特徴3：多様な連携体制に基づく地域医療への貢献：基幹施設や大規模連携施設で最先端医療を研修するだけでなく、地域医療を支える中・小規模施設、外科医の日常診療を支える基本手技や日帰り手術を実践する診療所まで多様な連携・研修体制を構築することにより、専攻医が裾野の広い技術と見識を体得できるよう配慮し、地域医療の活性化を図って参ります。

特徴4：サブスペ連動型の多様なプログラム：研修2年目には、各領域の必要手術経験数をほぼ完了し、研修3年目からは希望するサブスペ領域に重点をおいた手術研修や、その領域に関する基礎あるいは臨床研究を開始します。この段階で臨床研究に重点を置いた医療科学系大学院コース、基礎研究を主とする医学研究系大学院に入学するコースも選択できます。

特徴5：世界に目を向けた学術活動の奨励：研修1,2年目から国内の多くの学術集会での発表、論文執筆に関する基本的トレーニングの機会を与え、3年目からは国際学会発表、英文論文執筆の指導を開始し、新しい知見を創出し、世界に発信できる真の Academic Surgeon の養成を目指します。

特徴6：専門医取得後の活躍の場を提供：外科専門医、外科関連サブスペ専門医取得後には、本プログラムの基幹施設、連携施設における指導者として思う存分活躍できる機会を作ります。多くの海外連携施設、研究機関への留学の機会を経て、世界の外科学、外科診療を先導する人材の育成を目指します。

平成29年5月
プログラム統括責任者

1. 慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムについて

本研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと直結・連動すること

2. 慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムの特徴

- ・ 関東（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県）または中部（静岡県、山梨県）、中国地方（広島県）の広域にわたる施設と連携しております。
- ・ 慶應義塾大学外科学教室は大教室制度を敷いており、本研修プログラムはサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修プログラムに直結・連動する予定です。
- ・ 地域の1次・2次・3次医療の研修から無床施設での日帰り手術、大学病院または専門のセンターでの高難度手術まで、外科領域全般から専門領域まで幅広く研修することができます。
- ・ 特に研修1～2年目は外科領域全般を幅広く研修し、優先的に術者、助手として多くの症例で研鑽を積むことが出来ます。
- ・ 外科研修中より大学院コース、外科系臨床腫瘍医養成コースなどの選択も可能です。
- ・ 専門医取得以降も連携施設で修練の継続が確保されており、その後の海外留学や開業など選択肢も多様です。

3. 研修プログラムの施設群

慶應義塾大学病院と連携施設（52施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では約200名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

【専門研修基幹施設】

名称	都道府県	1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺内分泌外科 6:その他（救急含む）	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
慶應義塾大学病院	東京都	1. 2. 3. 4. 5. 6.	1. 北川雄光 2. 黒田達夫

			浅村尚生 志水秀行
--	--	--	--------------

【専門研修連携施設】

No.				連携施設担当者名
1	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	1, 2, 3, 5, 6	松井 淳一
2	国立病院機構埼玉病院	埼玉県	1, 2, 3, 5, 6	石塚 裕人
3	国立病院機構東京医療センター	東京都	1, 2, 3, 4, 5, 6	磯部 陽
4	国立病院機構栃木医療センター	栃木県	1, 5, 6	田村 明彦
5	栃木県立がんセンター	栃木県	1, 5	富川 盛啓
6	稲城市立病院	東京都	1, 2, 4, 5, 6	斎藤 淳一
7	川崎市立井田病院	神奈川県	1, 3, 5, 6	玉川 英史
8	川崎市立川崎病院	神奈川県	1, 2, 3, 4, 5, 6	市東 昌也
9	さいたま市立病院	埼玉県	1, 2, 3, 4, 5, 6	山藤 和夫
10	日野市立病院	東京都	1, 4, 5	藤田 晃司
11	平塚市民病院	神奈川県	1, 2, 3, 4, 5, 6	中川 基人
12	足利赤十字病院	栃木県	1, 2, 3, 5, 6	高橋 孝行
13	那須赤十字病院	栃木県	1, 4, 5	田村 光
14	静岡赤十字病院	静岡県	1, 2, 3, 5, 6	白石 好
15	浜松赤十字病院	静岡県	1, 3, 5, 6	西脇 眞
16	水戸赤十字病院	茨城県	1, 2, 5, 6	内田 智夫
17	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	1, 2	篠崎 浩治
18	済生会横浜市東部病院	神奈川県	1, 2, 3, 4, 5, 6	江川 智久
19	東京都済生会中央病院	東京都	1, 2, 3, 5, 6	原田 裕久
20	神奈川県厚生連 伊勢原協同病院	神奈川県	1, 5	壁島 康郎
21	永寿総合病院	東京都	1, 5, 6	愛甲 聡
22	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	群馬県	1, 2, 4, 5, 6	林 浩二
23	医療法人財団 荻窪病院	東京都	1, 2, 4, 5, 6	村井 信二
24	けいゆう病院	神奈川県	1, 2, 3, 5, 6	松本 秀年
25	国際親善総合病院	神奈川県	1	佐藤 道夫
26	埼玉メディカルセンター	埼玉県	1, 3, 5, 6	唐橋 強
27	佐野厚生総合病院	栃木県	1, 4, 5, 6	池田 謙
28	立川病院	東京都	1, 2, 3, 5	秋山 芳伸
29	多摩丘陵病院	東京都	1, 5	櫻川 忠之
30	日本鋼管病院	神奈川県	1	清水 壮一
31	福生病院	東京都	1, 5	五月女 恵一
32	北里研究所病院	東京都	1, 2, 3, 5, 6	石井 良幸
33	練馬総合病院	東京都	1, 4, 5, 6	栗原 直人
34	国際医療福祉大学三田病院	東京都	1, 5	池田 佳史
35	山王病院	東京都	1, 5	菊池 潔
36	川野病院	東京都	1	川野 幸夫

37	上尾中央総合病院	埼玉県	1, 5	大村 健二
38	湘南東部総合病院	神奈川県	1, 5	櫻井 嘉彦
39	国立がん研究センター中央病院	東京都	1, 3, 5, 6	片井 均
40	国立がん研究センター東病院	千葉県	1, 3, 5	北條 隆
41	静岡県立がんセンター	静岡県	1, 3, 5	坪佐 恭宏
42	東京医大八王子医療センター	東京都	1, 2, 3, 5, 6	河地 茂行
43	国立成育医療研究センター	東京都	1, 4	藤野 明浩
44	都立小児総合医療センター	東京都	2, 4	廣部 誠一
45	前田病院	東京都	1, 3, 5	岩郷 俊幸
46	山梨県立中央病院	山梨県	1, 2, 3, 4, 5, 6	後藤 太一郎
47	山本醫院	広島県	1, 2, 6	山本 裕
48	榊原記念病院	東京都	2	高梨 秀一郎
49	成田富里徳洲会病院	千葉県	1	白部 多可史
50	化学療法研究所附属病院	千葉県	1, 6	板野 理
51	横浜市立市民病院	神奈川県	3	吉津 晃
52	柏厚生総合病院	千葉県	1, 2, 5	諏訪 達志

4. 専攻医の受け入れ数について（外科専門研修プログラム整備基準 5.5 参照）

本専門研修施設群の年間 NCD 登録数は約 22,000 例、専門研修指導医は約 200 名ですが、本年度の専攻医数は 37 名です。

5. 外科専門研修について

1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年の専門研修で育成されます。

- 3年間の専門研修期間中、慶應義塾大学病院で1年、連携施設で2年（複数施設）の研修を行う予定です。
- 専門研修3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- 専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら研究を進めるならその期間は専門研修期間として扱われます（ただし、研究専念期間は6か月以内とします）。
- サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。サブスペシャリティ領域連動型について現時点では未定ですが3年目（2年目）よりサブスペシャリティ領域の研修に進んでいただきます。
- 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。（専攻医研修マニュアル-経験目標2-を参照）
- 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、100例を上限に研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。（外科専門研修プログラム整備基準2.3.3 参照）

2) 年次毎の専門研修計画

- ▶ 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
- ▶ 下図に慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムの1例を示します。専門研修1・2年目は連携施設、専門研修3年目は慶應義塾大学病院での研修です。3施設は全て異なる医療圏に存在します。



- ▶ 専門研修1年目では、連携施設Aで基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- ▶ 専門研修2年目では、連携施設Bで基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- ▶ 専門研修3年目では、慶應義塾大学病院でチーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。さらに、専攻医はサブスペシャリティ領域の専門医取得に向けた技能研修を開始します。大学院コースまたは外科系臨床腫瘍医養成コースを選択することも可能です。
- ▶ 慶應義塾大学外科研修プログラムでの3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

・専門研修1年目

連携施設群Aのうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 200 例以上 (術者 30 例以上)

慶應義塾大学後期外科専門研修医診療経験数



・専門研修2年目

連携施設群Bのうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 350 例以上/2 年 (術者 120 例以上/2 年)

・専門研修3年目

原則として慶應義塾大学病院でサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を開始します。一般・消化器外科を選択した場合はさらに上部消化管、下部消化管、肝胆膵・移植、乳腺外科、血管外科のグループを選択していただきますが、外科研修期間中はすべての領域を研修いたします。なお、不足症例に関して各領域をローテートします。

(大学院コース)

専攻医3年目以降大学院に進学し、臨床研究または学術研究・基礎研究を開始します。ただし、研究専任となる基礎研究は6か月以内とします。(外科専門研修プログラム整備基準 5.11)

▶ 慶應義塾大学外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります(未修了)。

3) 研修の週間計画 (別紙参照) および年間計画

■基幹施設 (慶應義塾大学病院例)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会							
7:00-8:00 朝カンファレンス							
8:00-10:00 病棟業務							
10:00-12:00 午前外来							
12:00-14:00 午後外来							
9:00- 手術							
15:30-16:30 総回診							
17:30- 放射線診断合同カンファレンス							
17:30-内科外科合同カンファレンス							
18:30- 病理合同カンファレンス							
17:30-18:30 医局全体ミーティング							

■研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> 外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布 日本外科学会定期学術集会参加（発表）
5	<ul style="list-style-type: none"> 研修修了者：専門医認定審査申請・提出（未定） 日本血管外科学会学術集会（参加・発表） 日本呼吸器外科学会総会（参加・発表） 日本小児外科学会学術集会（参加・発表）
7	<ul style="list-style-type: none"> 日本消化器外科学会総会（参加・発表） 日本乳癌学会学術総会（参加・発表）
8	<ul style="list-style-type: none"> 研修修了者：専門医認定審査（筆記試験 未定）
9	<ul style="list-style-type: none"> 日本胸部外科学会定期学術集会（参加・発表） 慶應内視鏡外科ワークショップ
11	<ul style="list-style-type: none"> 臨床外科学会参加（発表）
1	<ul style="list-style-type: none"> 慶應義塾大学外科フォーラム
2	<ul style="list-style-type: none"> 専攻医：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告）（書類は翌月に提出） 専攻医：研修プログラム評価報告用紙の作成（書類は翌月に提出） 指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出） 日本心臓血管外科学会学術総会（参加・発表）
3	<ul style="list-style-type: none"> その年度の研修終了 専攻医：その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 研修プログラム管理委員会開催

6. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

- 専攻医研修マニュアルの到達目標 1（専門知識）、到達目標 2（専門技能）、到達目標 3（学問的姿勢）、到達目標 4（倫理性、社会性など）を参照してください。

7. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

- 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- 放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
- Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。

(例)慶應義塾大学(肝胆膵移植グループ)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会	○			○			
7:30-8:30 HCC カンファレンス(外科、内科、放射線科)		○					
7:45-9:00 一般・消化器外科、小児外科カンファレンス(術後症例)				○			
17:30- 術前・後症例カンファレンス		○					
17:30- 放射線診断合同カンファレンス				○			
18:00- 胆・膵クラスタカンファレンス(ERCP)			○				
18:30- 病理合同カンファレンス				○			
19:00- 一般・消化器、小児外科カンファレンス	○						
19:00- 移植カンファレンス				○			

- 基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年1月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。

(例)慶應義塾大学(肝胆膵移植グループ)

5月/11月 信濃町肝胆膵外科ミーティング(年2回開催 大学、連携施設)

7月/2月 肝胆膵臨床腫瘍カンファレンス(年2回開催 外科、内科、病理、放射線科、連携施設)

- 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- 大動物を用いたトレーニング設備(慶應内視鏡外科ワークショップ)や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- 日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
 - ◇ 標準的医療および今後期待される先進的医療
 - ◇ 医療倫理、医療安全、院内感染対策(慶應義塾大学病院で医療安全、院内感染対策セミナーをそれぞれ年4回開催)

院内安全対策セミナー・感染対策講習会
 <平成27年度 開催予定表>

日程は変更になる場合もございますので、必ず事前のお知らせを確認してください。

※ 受講必須は、生内に受講をお願いいたします

開催内容	開催日	開催時間	開催場所	対象者
第65回 感染対策講習会 (病院全教職員受講必須※)	平成27年5月20日(水)		eラーニング公開中	
第52回 院内安全対策セミナー (病院全教職員受講必須※)	平成27年6月2日(火)		eラーニング公開準備中	
第66回 感染対策講習会	平成27年7月15日(水)	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員
第53回 院内安全対策セミナー	平成27年7月24日(金)	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員
第67回 感染対策講習会	平成27年10月7日(水)	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員
第54回 院内安全対策セミナー	平成27年10月14日(水)	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員
第68回 感染対策講習会	平成28年1月 予定	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員
第55回 院内安全対策セミナー	平成28年1月 予定	17:30~18:30	北里講堂 大会議室	2 全 体 期 間 病 院 教 職 員

・「院内安全対策セミナー」と「感染対策講習会」は、各々年間30点取得(2回以上受講)が必要です。
 ・上記の予定は変更する場合があります。詳細については、開催前の通知文書をご確認ください。
 ・2号館の空調は集中管理のため会場内の温度調節はできませんので、予めご了承ください。

8. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決しえない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿

勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらにえられた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。(専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照)

- ▶ 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加
- ▶ 指定の学術集会や学術出版物に、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

9. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて(専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照)

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること(プロフェッショナリズム)

- ▶ 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。

2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること

- ▶ 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
- ▶ 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。

3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること

- ▶ 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。

4) チーム医療の一員として行動すること

- ▶ チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
- ▶ 的確なコンサルテーションを実践します。
- ▶ 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。

5) 後輩医師に教育・指導を行うこと

- ▶ 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。

6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること

- ▶ 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
- ▶ 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
- ▶ 診断書、証明書が記載できます。

10. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは慶應義塾大学病院を基幹施設とし、関東(東京都、神奈川県、栃木県、茨城県、群馬県)または中部(静岡県、山梨県)、中国地方(広島県)地域の連携施設とともに病院施設群を構成してします。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うこ

とが非常に大切です。慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

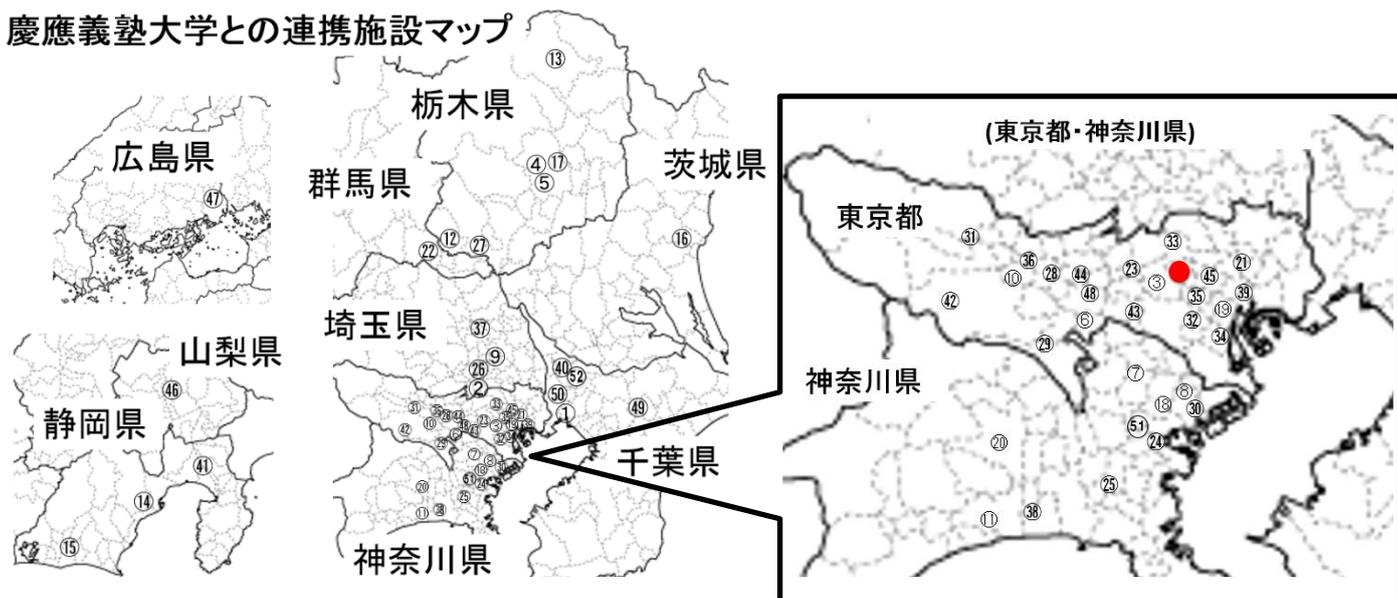
施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験（専攻医研修マニュアル-経験目標 3-参照）

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- ▶ 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能です。
- ▶ 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- ▶ 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

慶應義塾大学との連携施設マップ



1	東京歯科大学市川総合病院	17	済生会宇都宮病院	33	練馬総合病院
2	国立病院機構埼玉病院	18	済生会横浜市東部病院	34	国際医療福祉大学三田病院
3	国立病院機構東京医療センター	19	東京都済生会中央病院	35	山王病院
4	国立病院機構栃木医療センター	20	伊勢原協同病院	36	川野病院
5	栃木県立がんセンター	21	永寿総合病院	37	上尾中央総合病院
6	稲城市立病院	22	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	38	湘南東部総合病院
7	川崎市立井田病院	23	荻窪病院	39	国立がん研究センター中央病院
8	川崎市立川崎病院	24	けいゆう病院	40	国立がん研究センター東病院
9	さいたま市立病院	25	国際親善総合病院	41	静岡県立がんセンター
10	日野市立病院	26	埼玉メディカルセンター	42	東京医大八王子医療センター
11	平塚市民病院	27	佐野厚生総合病院	43	国立成育医療研究センター

12	足利赤十字病院	28	立川病院	44	都立小児総合医療センター
13	那須赤十字病院	29	多摩丘陵病院	45	前田病院
14	静岡赤十字病院	30	日本鋼管病院	46	山梨県立中央病院
15	浜松赤十字病院	31	福生病院	47	山本醫院
16	水戸赤十字病院	32	北里研究所病院	48	榊原記念病院
49	成田富里徳洲会病院	50	化学療法研究所附属病院	51	横浜市立市民病院
52	柏厚生総合病院				

1 1. 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル-VI-参照）

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアルVIを参照してください。

1 2. 専門研修プログラム管理委員会について（外科専門研修プログラム整備基準 6.4 参照）

基幹施設である慶應義塾大学病院には、慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の4つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。



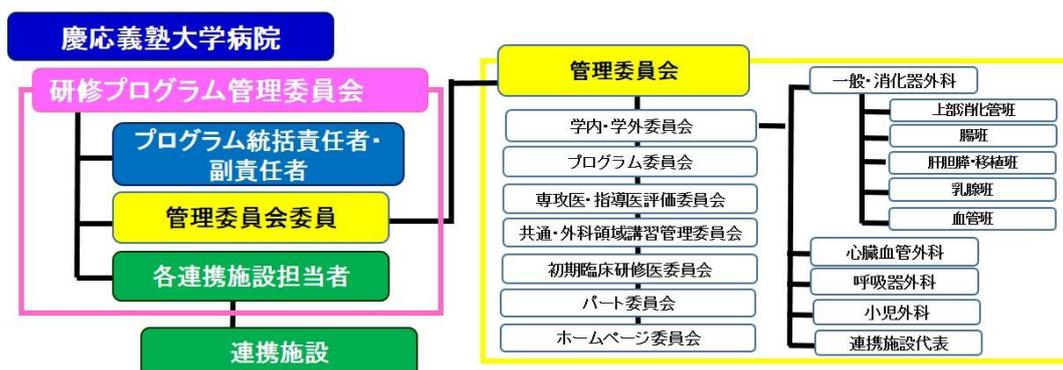
統括責任者
一般・消化器外科
北川雄光

副統括責任者
心臓血管外科
志水秀行

副統括責任者
呼吸器外科
浅村尚生

副統括責任者
小児外科
黒田達夫

慶應関連サブスペ連動型外科専門医プログラム 組織図



1 3. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘル스에配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間, 当直, 給与, 休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設, 各専門研修連携施設の施設規定に従います。

1 4. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

1 5. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

1 6. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙, 専攻医研修実績記録, 専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

慶應義塾大学外科にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

●専攻医研修マニュアル

別紙「専攻医研修マニュアル」参照。

●指導者マニュアル

別紙「指導医マニュアル」参照。

●専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

●指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

1 7. 専攻医の採用と修了

【採用方法】

慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会は、毎年6月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。

プログラムへの応募者は、

①日本外科学会ホームページより、本プログラムへの登録申請をして下さい。

(10月1日より、web登録開始となります。)

②慶應義塾大学医学部外科学教室ホームページより『募集要項*』をご確認いただき、所定の申請手続きを行ってください。ご不明な点は『問い合わせ先』を参照してお問い合わせください。

(URL : <http://keiosurg.umin.jp/shokikenshui/index.html> *近日公開予定)

【研修開始届け】

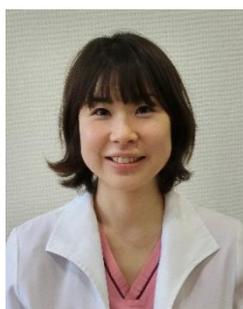
研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および外科研修委員会に提出します。

- ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書(様式15-3号)
- ・専攻医の初期研修修了証

修了要件

専攻医研修マニュアル参照

慶應義塾大学専門医研修医・修了者からのメッセージ



外科(2年目研修) 綿貫 瑠璃奈 (2013年卒)

慶應義塾大学外科後期研修を開始して約4ヶ月が経ちました。病棟管理、検査、手術と幅広い業務に携わらせていただき、忙しい毎日ではありますが、大変熱心な指導を受け、充実した日々を送っております。入局前は女性で外科の道に進むことに不安がありましたが、今はとても温かい先生方に恵まれ、毎日の仕事楽しく、後悔はありません。学生時代よりオンコロジーに興味があり、初めて外科に興味を持ったのは大学生の時のポリクリがきっかけでした。そして初期臨床研修で様々な科をローテーションし、一番楽しいと思えたのが外科であり、最終的に外科の道に進むことを決めました。入局に際して色々悩みましたが、最終的な決め手は臨床、研究ともに世界のトップレベルで活躍される先生方の熱いお話に感銘を受けたことと、偏りのないオールラウンドな外科医を目指したいと思い、母校の外科学教室に決めました。どの診療科に進むか、あるいはどの医局に入局するか悩んでいる初期研修医の皆さんは、外科説明会に是非一度ご参加いただき医局の雰囲気を肌で感じてみて下さい。皆さんの入局を楽しみにしております。



外科(3年目研修) 竹内優志 (2012年卒)

私は済生会中央病院で初期臨床研修後、慶應義塾大学医学部外科学教室に入局致しました。私に関しては、初年度は練馬総合病院、今年はけいゆう病院で諸先輩方の熱い指導を受け、臨床漬けの毎日を送っております。このように研修制度が完璧に築き上げられている所が慶應義塾大学外科学教室の大きな魅力の一つです。また、大教室制度であるため食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓、乳腺、心臓・血管、呼吸器、小児外科と様々な分野の疾患を経験する事ができます。臨床のみならず研究でも世界の最先端に行く慶應義塾大学外科を見て感銘を受け、入局を決めたのは私だけではないでしょう。是非説明会や勧誘食事会に来ていただき、エネルギッシュな医局の雰囲気を感じていただけたら幸いです。



外科(4年目研修) 益田 悠貴 (2011年卒)

私は徳島出身で徳島大学を卒業し、小平市の公立昭和病院で初期臨床研修を行いました。研修医の当初から消化器外科の道に進みたいという思いは固まっていたのですが、私は関東にルーツもなく、どの医局に入るかを本当に迷っていました。そんな中、私が慶應義塾大学外科に決めた一番の要因は、一緒に働いてみたいと感じる先輩外科医の方々との出会いでした。見学の際、慶應義塾大学外科の先輩方は、情熱的でエネルギッシュで勢いがあり、楽しそうに仕事をしている印象を受けました。入ってから知ったことですが、教室には世界に通用するリーダーを育てるというコンセプトがあります。それを体現すべく第一線で活躍されている先輩方で、そんな先輩方と仕事を共にできることは嬉しく、そして刺激的です。また、慶應義塾大学外科は大教室であり、他の外科教室では考えられないほどの、切磋琢磨できる数多くの同僚(一般・消化器外科の同期は17人います)に恵まれたことも魅力の一つだと思います。語りつくすことは出来ませんが、心から入ってよかったと感じています。慶應外科の仲間に加わる先生が一人でも増えることを願っています。



外科（4年目研修） 前田 日菜子（2011年卒）

私は慶應義塾大学の関連病院である東京歯科大学市川総合病院で初期研修を行いました。そこで、慶應義塾大学外科出身の諸先輩方に『外科』の手術、幅広い臨床、研究、それからこの科のやりがいについて学ばせて頂きました。しかしながらいざ進路として『外科』を選択するには女性である身としては、やはり不安は強く、手術が好きでありこの科に進んでいきたいと思いつつも進路選択には相当な迷いがありました。そんな時に慶應義塾大学外科主催のwork shopに参加させて頂き、北川教授率いる外科チームに触れてみて、「ここなら安心して入局できるかもしれない」と思いました。そう思えたのは、他大学出身であっても隔てなく受け入れてくれるオープンな雰囲気と、熱心に指導をしてくださるスタッフの先生方の存在、また互いに切磋琢磨し合える素晴らしい同期がたくさんいたからだと思います。また慶應一般・消化器外科には女性のスタッフの先生も多く、親身に相談にのって頂き、熱意ある勧誘をしてくださったことも入局の決め手になりました。現在乳腺班の一員として、大学で日々充実した毎日を送っています。



外科学（一般・消化器外科） 田中 真之（2007年卒）

平成19年に慶應義塾大学を卒業し、慶應義塾大学外科の教育体制、研修プログラム、そして何より先生方の熱意に感動し、入局を決めました。出張病院は伊勢原協同病院、立川共済病院を選択し、外科の基本手技・知識を中心にご指導を頂き、充実した研修生活を送れ、この2年間で今でも自分の臨床スタイルの土台となっております。大学の3年間は、肝胆膵・移植班として専門的な知識を身に付け、組織の中での自分の役割を学ぶ大切な期間であり、さらに、外科医としての幅をひろげる基礎研究を学ぶことも慶應の特徴です。私は、熱心なご指導により、研究結果をまとめることができ、卒後9年目で学位を取得しました。そして現在は、high volume centerであるがん研有明病院の肝胆膵外科で研修させていただいております。ここでは慶應義塾大学で学んだことを試し、他大学の猛者と切磋琢磨する、まさに勝負の場です。このような全国で類を見ない研修プログラムが慶應義塾大学の伝統であり、魅力と言えます。



外科学（心臓血管外科） 平野 暁教（2009年卒）

心臓血管外科の専修医プログラムは、外科研修ののちに選択できるサブスペシャリティの一つです。一般消化器外科で培った技術をもとに、心臓血管外科レジデントとして、成人心臓弁膜症・冠動脈疾患・大動脈疾患、小児先天性心疾患の手術症例を主治医として受け持つことで心臓疾患の学習を進めていきます。また、手術は第2助手の立場から、人工心肺の取り扱い方法や大腿動脈の露出法、大伏在静脈グラフト採取法を学び、徐々に開胸手技や人工心肺の確立・カニューレーションへステップアップし、可能であれば手術執刀の機会があります。その後、関連病院での出張や研究へ携わり、チーフレジデント業務につくことになります。関連病院としては、済生会宇都宮病院、済生会横浜市東部病院といった症例数の多い施設があり、術者執刀をすることもできます。基礎研究には、大型動物を用いたトランレーショナルリサーチ（大動脈疾患モデルの作成、心筋梗塞モデルの作成など）、脱細胞化技術を用いた人工臓器研究、iPS細胞による再生医療など、多岐にわたる分野での研究が可能です。外科専門医取得の後、心臓血管外科専門医取得によって慶應義塾大学での研修プログラムは、関連病院も含めた手術症例数の総数も多く、若手の執刀機会にも恵まれていると思います。



外科学(呼吸器外科) 栗山 翔司 (2012年卒)

私は現在、慶應義塾大学病院で呼吸器外科専修医として研鑽を積ませて頂いております。呼吸器外科は少人数ですが活気があり、スタッフの先生方から指導を受ける機会も多く、充実した日々を送らせて頂いております。呼吸器外科の手術は、隣接臓器の合併切除・再建等の大胆な手技と、肺血管鞘の剥離操作など繊細な手技の両者を兼ね備えています。安全で確実に手術を行うには術者の確かな技量が必要で、技術の習得には経験・時間を要しますが、その分手術を終えた際の充実感があります。私は、卒後3年目の1年間は、関連病院で一般消化器外科の手術手技・周術期管理等を含め、外科医として基本となる修練をさせて頂きました。外科学教室の特徴として、いかなる分野の外科医を志すとしても、外科医としての基礎的知識・技術が身につくよう、十分に指導して頂けることが挙げられると思います。今後も、多数の先生方が慶應義塾大学外科学教室へ入局されることを期待しております。



外科学(小児外科) 森 禎三郎

小児外科は、黒田達夫教授を中心にアットホームで働きやすい雰囲気が一番の魅力です。国立成育医療研究センターや都立小児総合医療センターをはじめとする多数の関連病院とも連携しており、慶應グループとして一つにまとまっている点も非常に良いところだと考えています。私は卒後5年目に都立小児総合医療センターに出向し、common disease から、日本で年間数例という希少な症例まで幅広く臨床を経験することができました。昨年度より慶應義塾大学病院へ帰室しましたが、慶應では肝移植や小腸移植などの「先進医療」を経験でき、小児固形腫瘍やリンパ管腫、腸管再生などに対する「基礎研究」についても学ぶことができます。一般消化器外科の出張期間で外科的基本手技を学び、関連小児病院で多くの手術症例を経験することができ、充実したプログラムの中で外科専門医から小児外科専門医へと計画的に取得することが可能だと感じています。



～医療科学系大学院コース～ 松田 諭 (2008年卒)

初期臨床研修修了後1～2年目の研修期間はそれぞれ栃木県、茨城県の基幹病院において、がんの開腹手術から腹腔鏡手術、血管外科手術、外傷を含めた3次救急疾患に至るまで、外科診療の基礎を幅広く学ぶことができました。さらに外科手技のみならず、消化器内視鏡技術に関する研修も積むことができるというもの、本プログラムの特徴だと思います。2年の研修を経て、がんに関して幅広くかつ専門的な研修を積みたいと考え、医療科学系大学院‘がんプロフェッショナル養成コース’に入学いたしました。3年目研修・大学院1年次(卒後5年)は慶應義塾大学病院の病棟レジデントとして、一般・消化器外科領域の診療を行い連携施設で学んだことを高めながら、食道癌における予後予測因子の確立を目的とした研究を立案し、日常臨床では捉えることができない側面から、癌の転移・再発の機序を見出すことができました。2年次(卒後6年)には、臓器横断的に血液・呼吸器腫瘍、緩和医療、放射線治療を学ぶことで、臓器・治療手法ごとに異なるがん治療の考え方を学び、3年次(卒後7年)の静岡がんセンター食道外科・胃外科での研修では、高い志をもち全国から集まった同僚と出会い切磋琢磨することで、知識と技術を磨くことができたと感じています。非常に濃密なプログラムの中、大学院3年次卒業という形で博士号を取得することができ、卒後8年目となった今年は病棟チーフとして上部消化管疾患を中心に一般・消化器外科診療を幅広く学ぶと同時に、後期研修の目標であった消化器外科専門医を取得することができました。当プログラムでは、専門領域を深めることに加え、臓器横断的に学ぶことができ、複数の施設で知識と技術を磨くことができる非常に魅力的なプログラムだと思います。



～医学研究系大学院～ 吉川 祐輔 (2009年卒)

慶應義塾大学医学部外科専門医プログラムでは、1～2年目の間に各施設の指導医の先生方のもと手術、病棟業務をはじめ、外来業務や化学療法、内視鏡検査など幅広く研修させていただくことで、外科診療の基礎を十分に学ぶことができます。そのうえで自分のサブスペシャリティに関する知識・技術の習得を目指していくことになりますが、これは臨床の分野に留まりません。医学研究系大学院に入学した場合、基礎研究を重点的に学ぶ期間として4～5年目(卒後6～7年)の2年間は与えられます。また、希望により学内の基礎研究室に出向し、より高度な研究に携わることも可能です。私は1～2年目の研修の頃から腫瘍血管新生に興味を持つようになり、坂口光洋記念機能形態学講座へ出向し、血管生物学研究に従事させていただいています。研究活動を通じて最先端かつ独創的な血管研究手技や、新たな知見を開拓するための方法論を獲得すると同時に、基礎研究者の視点や基礎医学一般を広く指導していただき、臨床医としての幅も広がったことを実感しています。例えば、これからのがん診療においては分子生物学的な観点から病態を理解することがより一層求められていくものと考えられますが、その土台が自然に築かれたものと考えています。

一方で、3年目と6年目(卒後5年・8年)の2年間は慶應義塾大学病院において一般・消化器外科領域の研修を行うことができます。また、私は一般・消化器外科において大腸班に所属していますが、基礎研究とは別に大腸領域の臨床研究に関しても帰室時より継続的に御指導いただいております。臨床医としての教育環境も充実しています。以上のように、本プログラムはより多様な知識や視点を背景に持った臨床医の育成を可能とする、きわめて有意義なものと考えます。



～海外留学～ 小野 滋司 (2002年卒)

-Santa Monica John Wayne Cancer Instituteに留学して-

これから研修を志す皆さんが思い描くキャリアパスに、海外研究留学という選択肢をご紹介します。臨床医にとって、時間とお金と労力を使って留学するメリットとは何でしょうか。ひとことでは言い表せませんが、基礎の考え方を学べるだけでなく、幅広い経験と視野が得られ、かけがえのない出会いにも恵まれます。また、留学中は十分な時間が確保できるので、ゆっくりと勉強したり、家族と過ごしたりすることができます。

特に小さなお子さんのいる家庭にとってはかけがえのない時間になるはず。昨今の研究事情はどれも厳しく、良質な留学先確保は困難な状況です。また、留学させる人的余裕のない医局も多いなか、慶應義塾大学には伝統的に継続する留学先が多くあり、希望者を送り出す体制が整っています。留学後の勤務先も保障されており、これ以上の環境はありません。当プログラムで専門医と学位を取得し、広い世界へと羽ばたく可能性を手に入れましょう。

海外留学(一部)



慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム施設紹介

基幹施設

【慶應義塾大学病院】



■一般・消化器外科

(http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/general_surgery/)

【上部消化管班】：<http://www.surgery-med-keio.jp/joubushoukakan/>)

1. 診療内容：胃・食道のすべての疾患を対象として検査、手術（胸腔鏡・腹腔鏡手術）、内視鏡治療（ESD）、放射線治療、化学療法、緩和支援療法を行っており、すべての修練を行えます。
2. 対象疾患：胃癌，食道癌，食道胃接合部癌，胃粘膜下腫瘍(GIST)，食道粘膜下腫瘍，難治性胃・十二指腸潰瘍，食道アカラシア，食道胃逆流症，食道裂孔ヘルニア，食道憩室，特発性食道破裂など
3. 特徴：胃・食道疾患に対して標準治療を画一的に施行するのではなく、大学病院ならではの「プラスα」を求めたより良い医療を提供できるように、現在胸腔鏡・腹腔鏡手術による低侵襲治療とセンチネルリンパ節生検による機能温存縮小手術，頭頸部領域も含めた上部消化管内視鏡診断と治療、進行癌に対する集学的治療や免疫療法等の先進的医療に積極的に取り組んでいます。
4. 実績：年間食道癌切除例約 50 例，胃癌手術例約 150 例（うち腹腔鏡手術約 90 例），内視鏡的切除(EMR/ESD)年間約 200 例。
5. 専門医としての目標（資格）：外科専門医、消化器外科専門医、学位（医学博士）、食道外科専門医、内視鏡外科技術認定医、がん治療認定医

【大腸班】：<http://www.keio-colorectalsurgery.com/>)

われわれは、日本で最初に腹腔鏡下大腸切除術を行った施設であり、歴史と伝統に基づく研修プログラムを有しています。腸疾患には悪性腫瘍だけでなく炎症性腸疾患・肛門疾患などの良性疾患も含まれるため、多くの疾患に対する深い造詣が要求されます。われわれは、診断から治療まで一貫して行うことができる外科医の育成を目指しています。手術はもちろんのこと大腸内視鏡検査や各種薬物療法にも積極的に取り組み、集学的治療において中心的役割を果たすことができるようにトレーニングを行います。また、次世代を担う世界をリードできる外科医を育成するために、新しい技術の導入・開発にも積極的に取り組んでおり、従来の手法にとらわれない新しい発想を活かした技術を学び、世界へ発信していく機会も多くあります。本研修プログラムを修了することで、消化器外科専門医さらに内視鏡外科技術認定医・大腸肛門病専門医取得に必要な修練を積むことができます。

【肝胆膵・移植班】：<http://www.keio-hpbts.jp/index.html>

肝胆膵・移植班は肝門部胆管癌に対して世界に先駆けて肝切除や血管合併切除を行い、黎明期を切り拓いてきました。同じく難治癌である膵癌に対してもいち早く術前化学放射線療法を導入し、さらに慶應独自の術後門注化学療法を加えることで、目覚ましく予後が改善しつつあります。本邦における腹腔鏡下胆嚢摘出術・肝切除術の導入・普及で決定的な役割を果たしてきたほか、肝細胞癌に対する局所治療としては凍結融解療法を日本で初めて導入し、その有効性を証明しました。移植領域においては禁忌とされた ABO 血液型不適合生体肝移植に対し世界で初めて移植後に門注療法を用いることで、パラダイムシフトを起こしました。

歴史的にも我々は創造性を豊かに育んできましたが、現在は肝胆膵領域のあらゆる疾患に対して、外科に加えて内科、放射線科が集う「肝胆膵クラスター」で自由闊達に協議し、最適の治療方法で臨む「全方位戦略」を診療の根幹としています。原発性・転移性肝腫瘍、胆道腫瘍、膵腫瘍いずれにおいても常に集学的治療を念頭に置きつつ、積極的に腹腔鏡下手術を取り入れ、また症例に応じて血管合併切除を含む拡大手術を多く行っています。非代償性肝硬変や急性肝不全に対しては生体・脳死肝移植を日本の主要施設のひとつとして手がけています。診断・治療に難渋した症例は外科・内科・放射線科に加え病理学教室の肝胆膵グループと共に肝胆膵合同カンファレンスで詳しく検討して肝胆膵領域の診療体系全体の水準の向上を図っております。この体制の下、日本・世界を先導する次の世代を担う意欲的な外科医を育成すべく、プログラムを構築してあります。

【乳腺班】：<http://www.surgery-med-keio.jp/breast/>

大教室制の利点を生かした、乳腺外科研修プログラムの特徴は、外科全般の手術・周術期管理の経験により外科専門医を最短で取得し、これに平行して乳癌診療の幅広い知識・技術の習得を行い、速やかに乳腺専門医を取得可能であることです。実際の研修では、病棟において乳癌手術を中心に手術手技や周術期管理の修練を行いますが、外来診療においては診察の手順や検査手技（画像診断・マンモトーム生検など）を学びます。また、乳癌の化学療法は当科で担当しているため、薬物療法の適応の検討や実施など、乳腺腫瘍内科的な考え方を同時に習得していくことが可能です。研究活動では、乳癌に関する本邦の基礎・臨床研究を牽引する実績を有し、最先端の研究環境で医学博士号の取得を目指すことが可能です。女性乳腺外科医の増加に伴い、当科では研修中の妊娠・出産に対する配慮が充実しており、これらは他の施設よりも多くの人員を擁する慶大外科の利点であると考えています。

【血管班】：<http://www.keio-vascularsurgery.com/>

一般・消化器外科血管班は、黎明期より本邦における血管外科診療を牽引してまいりました。閉塞性動脈硬化症、重症虚血肢、腹部大動脈瘤、腹部内臓動脈瘤、下肢静脈瘤、内シャント造設、さらに生体肝移植における血行再建にいたるまで、幅広く脈管疾患に対応しております。外科手術では人工血管置換術から Distal bypass 術まで、カテーテル治療ではステントグラフト治療から下腿への血管内治療まで、さらに顕微鏡下手術も手掛けております。また血管再生治療や生体吸収性ステントなどの臨床試験や、イノベーションな基礎研究にも積極的に取り組んでおります。主要関連施設における血管外科手術症例数は計 3000 例/年に及び、経験豊富な指導医のもとで、専攻医が十分な血管外科手術経験を積むことが可能です。心臓血管外科専門医の取得のみならず、Open surgery から Endovascular surgery まで、血管外科のすべてを習得し、自立した血管外科医を養成するプログラムを準備しております。

■小児外科：<http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/pedisur/> 又は <http://www.ped-surg.med.keio.ac.jp/>

小児外科では小児の呼吸器及び消化器・一般外科領域疾患を幅広く診療します。

慶應小児外科は慶應周産期・小児医療センターの中核科として、多くの先天異常、小児がん、小児救急そして肝・小腸移植医療、胎児治療からライフサイクル全体をカバーする成育医療につき小児病院と同等以上の医療を実践しています。ヒルシュスプルング病手術や小児内視鏡手術、小児肝移植・小腸移植医療など多岐にわたって、常に我が国の小

児外科をリードしてきた歴史を持ち、基礎から最先端の医療を実践し、また発展させる場として最高の環境を有しています。多くの小児病院や大学病院のリーダーとなる小児外科医を輩出しており、その関連施設とは常に技術を競い一つ密接に連携しています。

小児外科プログラムでは、このような環境下で最も効率良く専門医・指導医へ向けた修練と小児外科疾患に対する最先端の研究の経験を積むことが出来ます。そして、最終的に世界で活躍し世に大きく貢献する小児外科医を養成することがプログラムの目標です。

■心臓血管外科：<http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/cardiova/>)

又は (<https://www.keio-cardiovascular-surgery.com/>)

慶應義塾大学心臓血管外科は年間 250 例以上の開心術の他に胸部・腹部大動脈ステントグラフトや経カテーテル大動脈弁留置なども含めると年間 450 例の手術症例を有し、全国でも有数の心臓血管外科施設です。弁膜疾患、冠動脈疾患、大動脈疾患、先天性心疾患の各分野の手術を満遍なく施行している中でも、特に、低侵襲心臓血管治療を特色としており、小切開心臓手術、大動脈ステントグラフト、経カテーテル大動脈弁留置などを積極的に行っている点が大きな特徴です。心臓血管外科における修練では、低侵襲心臓血管治療を含めた各種心臓血管手術に多数参加し、手術に関する研鑽を積むほか、高度に発展している心臓血管外科手術の周術期管理や、呼吸循環器集中管理についての知識、経験を積むことができます。また循環器疾患の病態生理についての理解を深めることも目標としています。

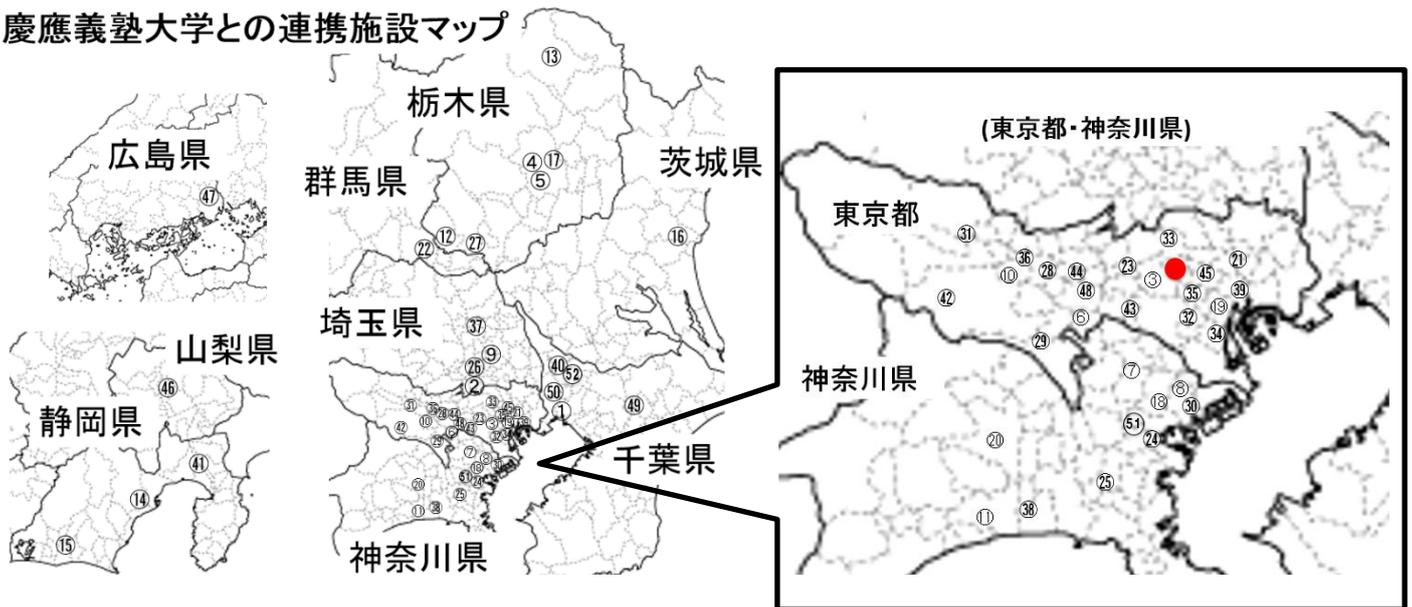
■呼吸器外科：<http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/thoracic/>)

又は (<http://plaza.umin.ac.jp/~thorkeio/index.html>)

呼吸器外科は、肺癌の診断と治療において我が国で有数の高い水準と症例数を誇っています。肺癌を中心に、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、悪性胸膜中皮腫等の悪性疾患のほか、気胸、非定型抗酸菌症、膿胸、胸部外傷、漏斗胸などに対し、年間 300 例以上の手術を行っています。治療対象となる疾患は多種多様で、あらゆる胸部外科手術の修練が可能です。外科専門医を目指すにあたり、救急医療の基本である A(airway)B(breathing)C(circulation)の中でも、特に AB を当科で身につけることで一般外科医としての基本的な素養が身につき、どのような診療科で働く際にも役立ちます。私達は、世界で活躍出来る臨床能力および医学的知識を有する呼吸器外科医を育成することを目標としています。自由闊達な議論ができる開放的な教室ですので、出身校や性別に関わりなく、共に良い仕事をしたいと思っております

【連携施設】

慶應義塾大学との連携施設マップ



1	東京歯科大学市川総合病院	17	済生会宇都宮病院	33	練馬総合病院
2	国立病院機構埼玉病院	18	済生会横浜市東部病院	34	国際医療福祉大学三田病院
3	国立病院機構東京医療センター	19	東京都済生会中央病院	35	山王病院
4	国立病院機構栃木医療センター	20	伊勢原協同病院	36	川野病院
5	栃木県立がんセンター	21	永寿総合病院	37	上尾中央総合病院
6	稲城市立病院	22	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	38	湘南東部総合病院
7	川崎市立井田病院	23	荻窪病院	39	国立がん研究センター中央病院
8	川崎市立川崎病院	24	けいゆう病院	40	国立がん研究センター東病院
9	さいたま市立病院	25	国際親善総合病院	41	静岡県立がんセンター
10	日野市立病院	26	埼玉メディカルセンター	42	東京医大八王子医療センター
11	平塚市民病院	27	佐野厚生総合病院	43	国立成育医療研究センター
12	足利赤十字病院	28	立川病院	44	都立小児総合医療センター
13	那須赤十字病院	29	多摩丘陵病院	45	前田病院
14	静岡赤十字病院	30	日本鋼管病院	46	山梨県立中央病院
15	浜松赤十字病院	31	福生病院	47	山本醫院
16	水戸赤十字病院	32	北里研究所病院	48	榑原記念病院
49	成田富里徳洲会病院	50	化学療法研究所附属病院	51	横浜市長市民病院
52	柏厚生総合病院				

【連携施設紹介:1. 東京歯科大学市川総合病院】

(<http://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/>) 連携施設担当者名：松井 淳一



来たれ、東京歯科大学市川総合病院外科専門医研修に！

当科では、一般消化器、心臓血管、末梢血管、乳腺、肺の各外科の専門医、指導医が揃い、広範な疾患の手術を経験できる体制を構築している。すなわち、年間約 1,000 例の手術は、消化器各臓器の開腹開胸手術、心臓・血管外科や肺外科手術、内視鏡手術が適応に応じてバランス良く実施され、さらに血管内治療、内視鏡治療が放射線科や内科と連携して行われている。術前・術後カンファレンス、カンサーボード、CPCなどを各科横断的に合同で行い、一つ一つの症例を大切に掘り下げて研修、学習できる。

最高の教育、指導の下で、最良の学習、修練の環境に身を置いて、初期研修を終えて「さあ、腕の良い外科医を目指すぞ！」という外科専攻医の夢に向かって第一歩を踏み出してもらいたい。君たちを待っている！

【週間予定】

時間		月	火	水	木	金	土(第2週休診)	日
7:30-8:00	朝回診	○	○	○	○	○	○	オンコール体制
7:45-8:30	カンサーボード(第1週:肺)			○				
7:45-8:30	カンサーボード(第2/4週:消化器)			○				
7:45-8:30	カンサーボード(第3週:乳腺)			○				
7:45-8:30	内視鏡カンファレンス					○		
8:00-9:00	抄読会				○			
9:00~	手術	○	○	○		○		
9:00-12:00	総回診(部長回診)				○			
9:00-12:00	病棟業務(交代制)	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00	内視鏡(上部消化管)	○			○	○		
12:00-13:00	血管外科カンファレンス				○			
13:00-17:00	内視鏡(下部消化管)	○			○			
13:00-17:00	内視鏡(気管支鏡)			○				
13:00-17:00	透視室検査(造影・ERCP、など)				○			
13:00-17:00	血管内治療(血管外科)				○			
18:00~	消化器合同カンファレンス			○				
19:00~	術前カンファレンス		○					
18:00~	モータリティカンファレンス(第2週)		○					

【連携施設紹介:2. 国立病院機構埼玉病院】

(<http://saitama-hospital.jp/>) 連携施設担当者名：石塚 裕人



当院は、東武東上線で池袋まで10分と都心に近い病院です。

当院は地域がん診療拠点病院としてがん診療のみならず、救急医療にも力を入れており、一般外科症例も多数経験できます。また、鏡視下手術も積極的に取り入れており、早期胃癌と大腸癌はほぼ前例、肝臓癌も適応に応じて腹腔鏡手術を行っています。例年、専攻医の先生方には術者として胃癌、大腸癌、胆嚢を中心に全麻症例を70例以上、ヘルニア、虫垂などの腰麻・局麻症例を100例以上経験して頂いています。

【週間予定】

月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:45手術症例カンファレンス	9:00-12:30上部内視鏡、造影検査	7:45-8:45病棟カンファレンス、抄読会	9:00-12:30回診、造影検査	9:00-手術	9:00-回診	9:00-回診
9:00-手術	13:00-病棟業務	9:00-手術	13:00-病棟業務	9:00-回診		
9:00-回診	9:00-回診	9:00-回診	9:00-手術(乳腺外科)			
9:00-12:30外来	9:00-12:30外来	9:00-12:30外来	9:00-12:30外来	9:00-12:30外来		
	18:00消化器カンサーボード					

【連携施設紹介:3. 国立病院機構東京医療センター】

([http:// www.ntmc.go.jp](http://www.ntmc.go.jp)) 連携施設担当者名：磯部 陽



東京都区西南部に位置し、緑豊かな駒沢オリンピック公園に隣接する病床数 780 床の地域がん診療連携拠点病院です。専門研修指導医 15 名，内視鏡技術認定医 5 名，NCD 登録 2000 例以上で，消化器，乳腺，呼吸器，心臓血管外科の研修を必要に応じ効率よく行うことができます。悪性疾患から胆石症，虫垂炎，鼠径ヘルニアまで鏡視下手術症例が豊富で，トレーニングセンターのシミュレーター等において日々研鑽を積むこともできます。急性腹症等の緊急手術や乳癌症例が多いのも特徴で，学会症例報告の機会も十分にあります。

【週間予定】

消化器外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 入院カンファレンス							
8:00-8:30 抄読会							
8:30-8:45 外科連絡会							
9:00-手術							
9:00-病棟業務							
9:00-12:00 午前外来							
13:00-17:15 午後外来							
9:00-12:00 内視鏡検査							
13:00-検査・処置等							
17:00-20:00術前カンファレンス							

乳腺外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 入院カンファレンス							
8:00-8:30 抄読会							
8:30-8:45 外科連絡会							
9:00-手術							
9:00-12:00 午前外来							
13:00-17:15 午後外来							
15:00-マンモトーム生検							
17:00-カンファレンス, マーキング							
17:00-病理カンファレンス							
20:00-MMGカンファレンス							

呼吸器外科	月	火	水	木	金	土	日
8:30-8:45 外科連絡会							
8:30-朝回診							
9:00-手術							
9:00-12:00 気管支鏡検査							
9:00-12:15 午前外来							
13:00-17:15 午後外来							
16:30-夕回診							
17:00-新入院カンファレンス							
17:00-退院カンファレンス, 抄読会							
17:00-気管支鏡カンファレンス							

心臓血管外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30血管外科カンファレンス							
8:00-8:30術前カンファレンス							
8:00-朝回診							
8:30-朝回診							
8:20-8:30 CCUカンファレンス							
9:00-手術							
9:00-12:15 午前外来							
13:00-17:15 午後外来							
17:00-18:00 抄読会							

【連携施設紹介:4. 国立病院機構栃木医療センター】

(<http://www.tochigi-mc.jp/>) 連携施設担当者名：田村 明彦



宇都宮市は栃木県の県庁所在地で、人口は 50 万人、東京から新幹線で 50 分です。当院は市内中核病院の一つで、外科の一日平均入院患者約 50 人、年間手術件数 600 件、うち 400 件が全身麻酔で、症例は主に一般消化器外科です。現在スタッフ 5 名、専攻医 1 名で運営しています。専攻医は半数以上の手術に参加し、豊富な臨床経験が得られます。内科を始め他の科も教育体制が充実しています。病棟と手術棟は 2014 年に完成したばかりです。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 病棟業務							
8:30-9:00 回診							
9:00-12:00 午前外来、検査							
9:00-17:00 手術							
13:00-17:00 検査							
15:00-16:00 病棟合同カンファ							
16:00-18:00 病棟業務							
17:00-18:00 外科カンファ							

【連携施設紹介:5. 栃木県立がんセンター】

(<http://www.tochigi-cc.jp>) 連携施設担当者名：富川 盛啓



当院では各種がんに対する専門医が診断/手術/薬物療法/緩和治療について指導できる体制となっております。がんの診療を「診断から治療、そして看取りまで」、一貫して研修できることが他施設にはない特徴です。外科専門医、消化器外科専門医、乳腺専門医の取得をめざして、手術経験症例や学会発表及び論文作成の指導を行っています。内視鏡外科の技術認定の指導も積極的に行っております。有意義な研修生活を送って頂けるよう、スタッフ一同、丁寧な指導を心がけています。

【週間予定】

		月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00	症例カンファレンス (病理, 放射線診断部, 放射線治療, 腫瘍内科合同)	○		○				
7:30-8:00	カンファレンス (抄読会, 勉強会, 予演会)				○			
8:00-9:00	回診	○	○	○	○	○		
9:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:00	手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00	外来							
13:30-15:00	所長・院長回診				○			
16:30	手術ビデオカンファレンス				○			
17:00-18:30	症例カンファレンス (病理, 放射線診断部, 放射線治療, 腫瘍内科合同)		○			○		
17:30-19:00	グランドカンファレンス				○			

【連携施設紹介:6. 稲城市立病院】

(<http://www.hospital.inagi.tokyo.jp/>) 連携施設担当者名：斎藤 淳一



当院は、東京都の多摩地区に位置する公立病院です。当院の外科は、一般・消化器外科を中心に、乳腺外科・小児外科の診療を行っております。年間約 450 件の手術を行っておりますが、外科専修医には、ほぼすべての手術に参加していただき、可能な限り術者として修練を積んでいただいております。また、上部および下部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査等の消化器疾患の検査も修練していただきます。外科医として、消化器を中心とした主だった疾患において、診断から治療（手術）そして術後の管理まで行えるように指導させていただきます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:15 消化器内科合同カンファレンス					○		
8:00-8:15 放射線診断合同カンファレンス	○						
8:15-8:30 回診	○	○	○	○	○	○	○
8:30-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:00- 手術	○	○	○		○		
10:00-12:00 午前外来				○			
13:00- 手術	○	○	○	○	○		
17:00-19:00 手術カンファレンス	○						

【連携施設紹介:7.川崎市立井田病院】

(<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/>) 連携施設担当者名：玉川 英史



川崎市立井田病院は最寄り駅が東急東横線日吉駅で、343床のがん診療連携拠点病院です。2次救急を担う救急センターや結核専用病棟、緩和ケア病棟も併設しています。症例1例1例を大切に検討する事に力を入れています。手術の研修は年単位の成長を考え、段階的に施行部位を増やす教育法を採用しています。また、外科医は手術のみならず、術前の画像・内視鏡診断から切除標本の顕微鏡所見まで学ぶ事が大切と考え、それらも教育に取り込んでいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会			○				
8:00-8:30 入院カンファレンス	○			○			
8:00-8:30 術後カンファレンス					○		
8:40-9:10 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○		○		○		
9:00- 内視鏡・透視		○		○			
15:30- 化療 キャンサーボード		○					
16:15- 多職種病棟カンファ				○			
17:00- 消化器キーンサーボード		○					
19:00- 臨床病理合同カンファ		○					

【連携施設紹介:8. 川崎市立川崎病院】

(<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>) 連携施設担当者名：市東 昌也



川崎市立川崎病院は都心からの交通も便利な川崎市南部地区の基幹病院で、手術症例が豊富で外科専門医研修の基準を満たすのみならず、外科医として貴重な様々な経験を積むことができます。環境面では、総合医局に個人のスペースも確保され、インターネットを含むLANも完備しています。そして常設の医局秘書が種々の業務をこなしてくれます。また、NCD登録専任の医師事務作業補助がいるため、煩わしい入力作業がなく臨床に専念できます。あと、一般外科では珍しく女性の外科担当部長がいるため、なかなか男性の上司には話せないことも相談することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 術前カンファレンス				○			
8:00-8:30 術後カンファレンス					○		
14:00-15:00 部長回診				○			
9:30-12:00 包交回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00- 手術	○		○		○		
8:30-9:00 抄読会等					○		
9:00- 造影、内視鏡等検査処置		○		○			
18:00-19:00 内科放射線診断科病理合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:9. さいたま市立病院】

(<http://saitama-city-hsp.jp>) 連携施設担当者名：山藤 和夫



当院には外科(消化器外科、乳腺外科、末梢血管外科を担当)、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科があり、この4科で年間約1400件の手術(NCD登録)を行っています。4科合わせてスタッフは15名です。したがって当院では外科専門医研修に必要な各領域の研修ができます。ここ数年の外科後期研修医の数は1~3年生合わせて3~5名です。研修医1人の執刀数は年間110~140例で、当院外科での研修により十分な経験を積むことができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
9:15~9:30 回診前カンファランス	○	○	○	○	○	○	○
9:30~10:30 病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00~17:00 手術	○	○	○	○	○		
9:00~12:00 X線検査				○			
9:00~12:00 上部消化管内視鏡検査					○		
(火)9:00~12:00 (木)13:00~17:00 下部消化管内視鏡検査		○		○			
7:45~8:30 勉強会 抄読会					○		
17:00~18:00 消化器カンファランス	○						
17:00~19:00 術前・術後カンファランス			○				

【連携施設紹介:10. 日野市立病院】

([http://hospital.city.hino.tokyo.jp./](http://hospital.city.hino.tokyo.jp/)) 連携施設担当者名：藤田 晃司



日野市立病院外科は月曜日から金曜日まで毎日が予定手術日で、週術全体の中で緊急手術の占める割合は約20%です。消化器疾患を診断すべく内視鏡検査も毎日行っています。取り扱う疾患の特徴としては、手術手技の基本となる急性虫垂炎と単径ヘルニアが年間の術件数として100件を超えていること、また多摩地区に長期にわたって住んでいらっしゃるお年寄りが多いことと高齢者施設が多数存在するため80歳代を中心とした急性期の胆道系疾患や大腸がんを中心とした悪性疾患が大学病院に比較して多く存在していることが挙げられると思います。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:15 朝再来受付ボランティア	○	○	○		○		
7:30-8:30 朝カンファレンス				○			
8:30-9:00 包交回診	○	○	○	○	○	○	○
10:00-12:00 午前外来				○			
17:00-18:00 夕回診	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○	○	○	○	○		

【連携施設紹介:11. 平塚市民病院】

(<http://www.hiratsuka-city-hospital.jp>) 連携施設担当者名：中川 基人



平塚市民病院外科では慶應義塾大学医学部一般・消化器外科と連携を図りながら、さまざまな種類の疾患に関して豊富な症例を経験することで、臨床能力の高い専攻医の育成を目指します。都心からほど近く、湘南の海と山に囲まれた自然豊かな環境のもと、充実した外科医としての生活を一緒に送りたい。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会							
8:00(30)-8:45 朝カンファレンス							
8:00-8:30胆道カンファレンス							
9:00-11:00 病棟業務							
9:00-12:00 午前外来							
9:00- 手術							
15:30-16:30 総回診							
17:00-術前症例検討カンファレンス							
17:00-消化管カンファレンス							
17:00-乳腺カンファレンス							

【連携施設紹介:12. 足利赤十字病院】

(<http://www.ashikaga.jrc.or.jp>) 連携施設担当者名：高橋 孝行



2011年に一般病床全室個室で免震構造の新病院に移転し、2015年に患者安全と医療の質の改善を目指す米国版機能評価 JCI の認証を取得しました。救急医療、心臓血管外科、呼吸器外科も充実し、小児外科を除いた殆どの研修が可能です。消化器外科は腹腔鏡下手術に重点を置き、毎年夏に福島県でセミナーを開催、鏡視下手術トレーニングを行っています。ラパコレから始まり、胃癌に対するLAGリンパ節郭清から再建まで積極的に術者を経験してもらっています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-9:00 症例・術前カンファレンス	○			○			
9:00-11:30 内視鏡検査	○			○			
9:00-11:30 回診	○	○	○	○	○	○	
13:00-17:00 検査・処置	○			○			
9:00- 手術	○	○	○		○		
17:00- 病棟業務	○	○	○	○	○		

【連携施設紹介:13. 那須赤十字病院】

(<http://www.nasu.jrc.or.jp/>) 連携施設担当者名：田村 光



当院は、栃木県北部では唯一の救命救急センターを有する 460 床の病院です。2012 年 7 月 1 日新築移転しました。2 次 3 次救急に対応している関係で外科の症例は多種多様です。消化器（食道、胃、小腸、大腸、肝・胆・膵）の癌・良性腫瘍や消化管出血、消化管穿孔、異物誤飲、腹部外傷、ヘルニア（成人、小児）、虫垂炎、胆道結石、憩室炎、乳癌、良性乳腺疾患（良性腫瘍、乳腺炎、etc）などを対象疾患とし、NCD 登録症例数は、年間約 800 例です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 勉強会				○			
8:00-8:30 朝カンファレンス	○	○		○	○	○	
8:00-8:30内視鏡カンファレンス			○				
9:00-12:00 病棟業務	○		○		○	○	
9:00-12:00内視鏡		○					
9:00-12:00外来				○			
9:00-手術	○		○		○		
16:30-放射線合同カンファレンス		○		○			

【連携施設紹介:14. 静岡赤十字病院】

(<http://www.shizuoka-med.jrc.or.jp>) 連携施設担当者名：白石 好



静岡赤十字病院は、「人道」「博愛」の赤十字精神にのっとり、安心して身を任せることができる医療を提供することを理念とする総合病院です。外科系の診療科として、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科を有しており、手術、周術期管理、上下部胆道の内視鏡検査と処置、NST、緩和ケアなどのチーム医療、学会活動、多岐にわたる修練を経験でき、一般外科医療に関する標準的な知識と技術を習得することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30～ 術前					○		
7:45～SPC(第3木)				○			
8:00～ 入院患者カンファ(月)・抄読会(火)	○	○					
8:30～12:00 午前外来			○				
8:45～9:45 検査(造影 内視鏡)			○				
9:00～ 手術	○			○	○		
9:15～10:00 回診		○					
12:00～ 緩和ケアカンファ				○			
15:00～ NSTカンファ					○		
16:00～ 治療方針カンファ					○		
16:30～ 外来緩和カンファ(第1・3)				○			
17:00～ 勉強会					○		

【連携施設紹介:15. 浜松赤十字病院】

(<http://www.hamamatsu.jrc.or.jp>) 連携施設担当者名：西脇 眞



静岡県西部の浜松市浜北区に位置する地域中核病院で、県の災害拠点病院に指定されており、救急医療にも力を入れています。診療科目は、一般消化器外科（上下部消化管、肝胆膵）、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、末梢血管外科です。腹腔鏡手術も積極的に取り入れており、年間手術症例約 750 例、全身麻酔症例約 400 例で、腹腔鏡手術約 150 例です。上下部内視鏡検査、ERCP など、内視鏡検査や治療も外科を中心に行っており、ESD,EMR、EST 及び消化管、胆道ステント治療も学ぶことができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30 朝カンファレンス		○					
7:45-8:30 症例カンファレンス			○				
7:45-8:30 病理合同カンファレンス					○		
8:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-12:30 午前外来	○	○	○	○	○		
10:00- 手術	△	○	○	○	△		
13:30-15:30 午後専門外来	○	○	○	○	○		
15:30-16:30 総回診	○	○	○	○	○		

【連携施設紹介:16. 水戸赤十字病院】

(<http://www.mito.jrc.or.jp>) 連携施設担当者名：内田 智夫



当院は茨城県水戸市内にある総合病院で外科手術数は年間約 1,100（胃 120 大腸 250 乳腺 180 血管 150 など）例。消化器外科のほか乳腺、血管外科の専門医を含むスタッフと、研修医（レジデント）がペアとなって診療にあたっている。開腹、開胸手術はもとより、腹腔鏡下手術、内視鏡治療、IVR など幅広く多彩な手技の修得が可能。各領域の診断から治療さらに緩和医療に至るまで総合的な能力を養うに適した研修施設である。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 内科外科放射線科合同カンファレンス	○						
8:00-9:00 外科手術症例カンファレンス		○			○		
9:00- 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:30- 手術（一般・消化器）	○	○	○	○	○		
9:30- 手術（乳腺・血管）		○	○		○		
9:00-12:00/13:00-17:00 外来	○	○					
9:00-12:00/13:00-17:00 検査（内視鏡等）	○	○	○	○	○		
17:00- 放射線科合同乳腺カンファレンス				○			
17:00- 大腸カンファレンス				○			

【連携施設紹介:17. 済生会宇都宮病院】

(<http://www.saimiya.com/>) 連携施設担当者名：篠崎 浩治



済生会宇都宮病院外科は年間 1500 件を超える NCD 登録手術件数を有し、消化器癌の高難度手術（日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設（施設 B）認定施設）を始めとして、乳癌や腹部緊急疾患を含む良性から悪性疾患に対する幅広い領域の治療を行っています。また、外科の基本的手術である鼠径ヘルニア手術（年間約 150 件）や急性虫垂炎手術（年間約 120 件）も多数経験することが出来ます。さらに、救命救急センターが併設され腹部救急疾患の症例も多数ありますので、幅広い豊富な症例を経験する事が可能です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会						○	
7:00-8:30 術前カンファレンス		○					
8:30-9:30 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
7:30-9:30 科長回診				○			
9:00- 手術	○		○		○		
7:30-8:30 手術症例カンファレンス	○						
8:00-8:45 Cancer board			○				
8:00-8:45消化器内視鏡カンファレンス					○		

【連携施設紹介:18. 済生会横浜市東部病院】

(<http://www.tobu.saiseikai.or.jp/>) 連携施設担当者名：江川 智久



われわれの研修の特徴は①外科領域ほぼすべてを研修すること（消化器外科・乳腺外科・血管外科・小児外科・呼吸器外科）、②救急部と一体的に運営していることから、全国でも有数の重症外傷センターで Acute care surgery を豊富に研修できること、③年間手術症例が 2000 件以上あり、多数の手術を経験できることです。また手術支援ロボットダヴィンチでの胃癌手術、ハイブリッド手術室での血管手術・外傷手術、サイバーナイフによる放射線治療など東部病院でなければ経験できない最先端医療を行っております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 抄読会、勉強会							
8:00-9:00 病棟業務							
9:00- 手術							
9:30- 外来							
17:30- 放射線診断合同カンファレンス							

【連携施設紹介:19. 東京都済生会中央病院】

(<http://www.saichu.jp/>) 連携施設担当者名：原田 裕久



当院は東京タワーのたもとにある100年の歴史を持つ総合病院です。当院は三次救急医療機関、東京都がん診療連携拠点病院であり、生活困窮者医療にも積極的に取り組んでいます。外科部門は一般・消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科に分かれており、外科専門医修練で学ぶべき手術をほぼすべて経験することができます。また救急疾患が多いこと、慢性疾患を合併した症例が多いことから、周術期管理に置いても幅広い知識、技術を習得することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 朝ミーティング	○						
8:30-9:00 朝ミーティング		○	○	○	○	○	
8:30-9:00 内科・外科・放射線科合同カンファレンス	○						
8:30-10:30 総回診						○	
9:00- 手術または病棟業務	○	○	○	○	○		
16:00-17:00 夕回診	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 術前カンファレンス		○					
18:00-18:30 勉強会		○					

【連携施設紹介:20. 伊勢原協同病院】

(<http://www.iseharahp.com/>) 連携施設担当者名：壁島 康郎



当院は 350 床の急性期地域基幹病院です。外科スタッフは 6 名で上部消化管，下部消化管，肝胆膵，乳腺の各専門医師が専門的知識に基づいた教育を行っています。消化器外科領域で重視される内視鏡外科の技術認定医も有し，胆嚢・虫垂・ヘルニアをはじめ，胃・大腸の腹腔鏡手術の術者指導も行っています。2014 年度の専門研修医の術者経験数は 211 例，助手経験は 277 例と，若手外科医の教育指導に積極的に取り組んでいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 術前カンファ・抄読会		○					
8:30-9:00 回診	○		○	○	○	○	
9:00-1230 内視鏡検査						○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
18:30- 内科外科合同カンファ	○						
19:30- 術後，入院症例，死亡症例カンファレンス	○						

【連携施設紹介:21. 永寿総合病院】

(<http://www.eijuhp.com>) 連携施設担当者名：愛甲 聡



当院は上野駅から徒歩5分と利便性に恵まれ、急性期病床384床と緩和病床16床を有します。外科では、1年間に大腸癌70例、胃癌30例、胆摘80例、専門医による肝・膵切除20例、食道癌・乳癌各々10例程の手術が行われ、およそ8割が腹腔鏡下手術です。後期研修医は1名体制のため、かなり多忙ですが、年間100例のヘルニアと、60例の虫垂炎のほぼ全例に術者として携わることで、基本的手術手技は早期に身に付きます。そして、5人の指導医による集中的な研修により、多くは腹腔鏡下の胃・大腸切除を安全に執刀できるようになって、1年を締めくくります。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00- 病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
8:40-9:10 病棟総回診	○	○	○	○	○	○	
9:10-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
13:30-17:00 午後外来	○	○	○	○			
9:00- 手術	○	○	○		○		
13:30- 手術	○		○		○		
17:30- 放射線診断合同カンファレンス	○						
13:30- 病棟カンファレンス		○					
9:10- 午前内視鏡		○		○		○	
13:30- 午後内視鏡		○		○			

【連携施設紹介:22. SUBARU 健康保険組合太田記念病院】

([http:// www.ota-hosp.or.jp/](http://www.ota-hosp.or.jp/)) 連携施設担当者名：林 浩二



当院は群馬県太田市最大の総合病院であり、当地域の中心的施設です。2012年6月に全面移転し新しい施設で研修が可能です。

平成26年度の手術実績は消化器外科478例、心臓血管外科208例、小児外科172例、乳腺外科110例、呼吸器外科48例と、救急科53例となっております。3次救急施設であり、年間5000台以上の救急車を受け入れており、外傷の手術も経験できます。どの大学出身者にとっても研修しやすい環境となっております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7.10-8.30 術前患者・入院患者カンファレンス				○			
8:30-10:00 病棟業務・回診		○	○	○	○		
9:00-12:00 外来	○						
10:00- 手術		○	○	○	○	○	
17.30- 消化器内科・外科合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:23. 荻窪病院】

(<http://www.ogikubo-hospital.or.jp>) 連携施設担当者名：村井 信二



荻窪病院は、東京都杉並区において、急性期医療を行っている病院です。外科においては、消化器外科領域の手術を約 800 件/年間施行しております。特長としては、胃癌、大腸癌を始め、肝胆膵領域、食道癌、急性腹症にいたるまで、腹腔鏡手術を幅広く施行しており、400 件/年間以上の腹腔鏡手術を研修できます。また、消化器内科との合同カンファレンスや、化学療法カンファレンスを行う等、診断から手術手技、化学療法に至るまでの、総合的な研修を心がけております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 朝カンファレンス							
8:30- 消化器カンファレンス			○				
8:30- 化学療法カンファレンス				○			
9:00-17:30 病棟業務・外来	○	○	○	○	○	○	
9:00-17:30 手術	○	○	○	○	○	○	
9:30-11:00 総回診		○					
17:30- 総合カンファレンス		○					
17:30- 病棟カンファレンス			○				

【連携施設紹介:24. けいゆう病院】

(<http://www.keiyu-hospital.com>) 連携施設担当者名：松本 秀年



けいゆう病院は平成8年にみなとみらい地区に移転し、全ての病室から横浜の海が見渡せるという立地に恵まれた病院です。外科は平成26年度より上部・下部消化器、肝胆膵、乳腺、血管、呼吸器の専門医が揃う構成となりました。従って幅広い疾患を対象にし、安全で低侵襲な手術を目指しており、胸腔鏡下・腹腔鏡下手術の推進に取り組んでいます。専攻医の先生方にはより多くの術者、研鑽を積めるよう日常診療から協力していきたいと思えます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30- 病棟回診							
9:00- 外来							
9:00- 検査(A・B)							
9:30- 手術							
13:30- 部長回診							
13:30- 症例カンファレンス							
13:30- 検査(B・C)							
15:00- 検査(B・C)							
17:30- 放射線科・内科・外科							
19:00- 外科抄読会・連絡会							

※ 検査A：胃透視・注腸・上部消化管内視鏡検査・造影検査

※ 検査B：外来手術(乳腺腫瘍摘出、リンパ節生検等)

※ 検査C：下部消化管内視鏡検査・PTCD・PTGBD・ERCP・PEG・造影検査

【連携施設紹介:25. 国際親善総合病院】

(<http://shinzen.jp/>) 連携施設担当者名：佐藤 道夫



横浜市泉区の中核病院として、ほぼ全ての領域の外科的疾患を扱っており、5名のスタッフは、それぞれの専門性を活かして診療をしています。専攻医にはガイドラインに準拠して、開胸開腹の手術から腹腔鏡の手術まで指導していきます。検査は、上下部内視鏡やERCP等を指導します。常時、消化器内科、放射線診断科とカンファレンスを行っており、横断的な診断治療を学んでもらいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45- 8:15抄読会				○			
8:00-8:15 勉強会				○			
8:15-8:40 症例カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 外来	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 手術	○			○	○		
9:00-17:00 内視鏡・検査		○	○		○	○	
17:15-18:15 病棟カンファレンス	○						
17:30-18:30 消化器科・診断科 合同カンファレンス				○			
7:45- 8:30 術前カンファレンス	○						
18:00-19:00 内視鏡カンファレンス				○			
8:30-8:40 ICUカンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:40-9:00 総回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 外来						○	

【連携施設紹介:26. 埼玉メディカルセンター】

(<http://saitama.jcho.go.jp>) 連携施設担当者名：唐橋 強



当院は、人口122万人の政令指定都市 さいたま市にあり総病床数395床（うち外科病棟46床）の地域中核病院です。外科は主に一般消化器、呼吸器、乳腺疾患を対象に診療しており、NCD年間登録症例数はそれぞれ、470,60, 220例程で、うち内視鏡（腹腔鏡、胸腔鏡）手術は160例を占めます。緊急手術適応となる急性疾患も積極的に診療しつつ、埼玉県がん診療指定病院として高度な悪性腫瘍手術にも取り組んでいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、			○				
8:30-9:00手術症例検討会		○			○		
8:00-9:00 カルテ回診				○			
8:00-9:00手術症例手術決め	○						
9:00- 12:00外来	○	○	○	○	○		
9:30-手術	○	○	○	○			
9:30-12:00上部内視鏡			○	○	○		
9:30-12:00下部内視鏡	○				○		
13:00-ERCP					○		
17:00-消化器、放射線科合同カンファレンス				○			
17:00-病理カンファレンス	○						

【連携施設紹介:27. 佐野厚生総合病院】

(<http://jasanoko.or.jp/>) 連携施設担当者名：池田 謙



当院は13年前に新築移転した531床（22診療科、外科病床50床）の総合病院です。外科はスタッフ6名（うち内視鏡外科学会技術認定医2名）、後期研修医2名の計8名で、院内外の良い医療連携の下、腹腔鏡手術を中心に年間550件前後の一般・消化器外科領域の手術をこなしています。専攻医は慶大外科プログラムに沿い、優れた研修環境の下、数多くの手術経験や論文作成を含め、幅広く外科臨床を研鑽することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会						○	
7:30-8:30 朝カンファレンス					○		
8:30-10:00 回診	○		○	○	○		
10:00-12:00 午前外来		○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○		○		
9:00- 消化器内視鏡検査		○	○	○		○	
17:30- 内科外科合同カンファレンス	○						

【連携施設紹介:28. 立川病院】

(<http://www.tachikawa-hosp.gr.jp/>) 連携施設担当者名：秋山 芳伸



当院は、2017年7月に新棟へ移転いたします。外科研修では、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科の研修を行えます。多くの最先端の鏡視下手術が経験できる体制を整えております。1年間の研修の中で、最終的にはほぼ全ての疾患にて手術術者を経験することが出来ます。さらに、多摩地区での研究会も多数開催され、研究発表の機会も十分に持つ事ができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:50-8:00 病棟カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:00-8:30 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 外来診療						○	
9:00-9:30 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:30- 手術	○	○	○	○	○		
9:00- 内視鏡検査			○	○			
16:30- 呼吸器合同カンファレンス					○		
17:00- 消化器合同カンファレンス			○				

【連携施設紹介:29. 多摩丘陵病院】

(<http://www.tamakyuryo.or.jp/hospital/>) 連携施設担当者名：櫻川 忠之



当院は東京都町田市の北西に位置する病院です。診療内容は、消化器外科、乳腺外科の他、上下部消化管および膵・胆道系内視鏡検査も行っています。

手術件数は約 300 例／年です。内訳は胃、大腸、乳腺、肝胆膵の悪性腫瘍が約 100 例、胆石、ヘルニア、虫垂炎が約 130 例です。胃、大腸手術や虫垂炎に対しては過半数を腹腔鏡手術で行っています。研修に当たっては虫垂炎、ヘルニア、胆石症、胃切除、大腸切除なども執刀していただいています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 総回診	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○			○	○		
9:00-12:00 上部消化管内視鏡検査		○	○			○	
13:00-17:00 下部消化管内視鏡検査 ドレーン造影検査		○	○				
17:00- 病棟業務	○	○	○	○	○		
18:30-カンファレンス	○			○			
19:00- 抄読会(月1回)	○						
18:30- 病理合同カンファレンス(月1回)					○		

【連携施設紹介:30. 日本鋼管病院】

(<http://www.koukankai.or.jp>) 連携施設担当者名：清水 壮一



消化器外科を中心とし、末梢血管外科の症例を含めた手術および周術期管理を学ぶ。一般的な手術の助手とヘルニア、虫垂炎、痔核、下肢静脈瘤、CV ポート挿入などの術者より始め、局所解剖を理解したのち胃切除、大腸切除、腹腔鏡下胆嚢切除などの術者を務める。技量に応じて肝切除なども行う。そのほか消化器内視鏡検査や CART などの病棟処置も行なう。また内科・放射線科との合同カンファレンスをおこない、診療科横断的な症例検討を行なっている。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
外来	○	○	○	○	○	○	
専門外来(乳腺、血管、肛門)	○	○		○	○		
9:15-病棟回診	○	○	○	○	○	○	
内視鏡		○		○			
9:00-手術	○		○		○		
12:15-13:00勉強会、カルテ回診		○					
17:00-18:00術前カンファレンス		○					
18:00-19:00外科・内科・放射線科合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:31. 福生病院】

([http:// www.fussahp.jp](http://www.fussahp.jp)) 連携施設担当者名：五月女 恵一



当院は東京都下の中規模第二次医療機関で症例数に恵まれていることから、ほとんどの臨床科で通常疾患の経験を十分に積むことができると考えています。また、有病率が非常に少ない疾患で都内の大学病院などに紹介せざるを得ない場合でも、その地の利から経過の把握がしやすく、紹介した後に何の情報も得られないということが回避できると思われます。また、東京都指定二次救急医療機関として内科系、外科系の医師2名体制で休日・全夜間救急診療を行っており、東京都脳卒中急性期医療機関にも指定されています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-10:00 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:30- 手術	○	○	○	○	○		
18:00- 内科放射線科合同カンファレンス			○				
18:00- 薬剤師合同カンファレンス				○			

【連携施設紹介:32. 北里研究所病院】

(<http://www.kitasato-u.ac.jp/hokken-hp/>) 連携施設担当者名：石井 良幸



当院における年間の外科手術件数は約 700 件です。ほとんどの消化器疾患、肺がんを中心とする胸部外科疾患、乳がんなどの乳腺疾患、大動脈瘤や静脈瘤などの血管外科疾患、そしてヘルニアや肛門疾患など幅広く診療を行なっています。それぞれ学会の専門資格を有する医師が中心となって診療を行なっており、鏡視下の低侵襲手術も積極的に行っています。病院理念である「心ある医療」を実践するべく、コメディカルスタッフを含めたチーム医療による多角的な診療とケアを行なっています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30- 9:00 外科カンファレンス					○		
7:30- 8:30 内科・外科カンファレンス		○					
8:00- 8:30 抄読会						○	
8:30-17:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
13:00-17:00 午後外来	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 手術	○	○	○	○	○		
15:00-16:00 部長回診			○				
18:00-19:00 がんカンファレンス			○				

【連携施設紹介:33. 練馬総合病院】

(<http://www.nerima-hosp.or.jp>) 連携施設担当者名：栗原 直人



当院は224床と中規模の都市型病院であり、患者は比較的高齢者が多く、ヘルニアから肝切除まで幅広く研修できる。外科専攻医が一人であるため外科手術のほとんどに関与することになり、非常に多くの症例を経験できる。過去の専修医の場合は1年間で術者200例、助手200例程度の手術経験が可能であった。仕事はハードだがそれに見合った知識・経験が得られることを保障する。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30抄読会					○		
8:15-9:00朝カンファレンス(曜日により時間変更あり)	○	○		○	○		
8:00-9:00術前術後カンファレンス			○				
8:30-9:00内科外科合同カンファレンス		○					
13:30総回診					○		
9:00-10:30病棟業務	○	○	○	○	○		
10:00-12:00内視鏡検査			○				
10:30-手術	○	○			○		
13:30-手術	○	○	○	○	○		
16:30-医局会(第三水曜日)			○				

【連携施設紹介:34. 国際医療福祉大学三田病院】

(<http://mita.iuhw.ac.jp/index.html>) 連携施設担当者名：池田 佳史



2005年に大学附属病院として開設いたしました国際医療福祉大学三田病院は、東京都がん診療連携拠点病院の認定を受け、がん診療における基幹病院として機能充実に努めています。2012年2月には老朽化による建て替え工事が完了し、地上11F・地下1Fの新病院として生まれ変わり、地域の中核病院として診療科の垣根を越えたセンター方式を導入しながら、専門性にもとづいたチーム医療を実践しております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 朝カンファレンス	○	○	○	○		○	
8:30-9:00 全員回診	○	○	○	○		○	
9:00-16:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
10:00-12:00 午前外来					○		
9:00- 手術	○	○	○	○		○	
16:30-17:30 夕回診	○	○	○	○	○	○	
17:30- 手術カンファレンス	○						
18:30- 病理合同カンファレンス				○			

【連携施設紹介:35. 山王病院】

(<http://www.sannoclc.or.jp>) 連携施設担当者名：菊池 潔



当院の消化器外科は上部・下部消化管内視鏡検査はもちろんのこと CT,MRI,PET-CT,Echo などの機器が充実しており、スクリーニングや精密検査が遅滞なくできるのが利点である。

また、腹腔鏡による手術においても安全性を重視しながら症例数を増やしてきている。

特に、排便機能に関する専門外来があり、仙骨神経刺激療法を行える数少ない病院の一つでもある。乳癌はマンモトームを積極的に活用し、早期乳癌の発見に努めている。各疾患について診断、手術、術後補助療法に関してそれぞれベテランの専門医による指導体制が充実している。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
朝カンファレンス・回診	○	○	○	○	○	○	
9:00手術		○					
13:00手術		○		○			
内科・外科カンファレンス					○		
病棟業務	○	○	○	○	○	○	
外来午前	○		○	○	○	○	
外来午後	○		○	○	○	○	

【連携施設紹介:36. 川野病院】

(<http://www.kawano.or.jp/>) 連携施設担当者名：川野 幸夫



当院は立川駅より徒歩5分にあり外科、内科、整形外科、皮膚科、肛門科の専門医による診療を行っています。急性期医療を中心に2次救急指定機関として救急対応もしています。消化器疾患には力をいれており内視鏡検査や治療内視鏡も行っており年間2000件以上の実績があります。手術は痔疾患、単径ヘルニアを中心に腹腔鏡手術も積極的に行っており年間150件ほどの症例があります。外科専門医2名にて丁寧な指導を心掛けています。

【週間予定】

月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	
9:00-12:00 内視鏡検査	9:00-13:00 午前外来	9:00-12:00 手術	9:00-10:30 カンファレンス	9:00-11:00 内視鏡検査	9:00-14:00 午前外来	
13:00-17:00 内視鏡検査	13:30-14:00 カンファレンス	13:00-18:00 手術	10:30-12:00 総回診	11:00-12:00 病棟業務	14:30-17:00 病棟業務 QQ対応	
17:00-19:00 病棟業務	14:00-15:30 病棟業務	18:00-20:00 病棟業務		13:00-15:30 内視鏡検査		
	15:30-19時 午後外来			15:30-19:00 午後外来		
				19:00-20:30 病棟業務		

【連携施設紹介:37. 上尾中央総合病院】

(<http://www.ach.or.jp/>) 連携施設担当者名：大村 健二



当院は、JR 高崎線の上尾駅から徒歩3分の場所に位置している。現在の病床数は724で、人口24万人の上尾市のみならず埼玉県県央保険医療圏の基幹病院としての役割を担っている。190名の医師が常勤しており、うち初期研修医は31名である。

当院の消化器外科と呼吸器外科、心臓血管外科は、各々の学会の修練施設に認定されている。また、虫垂切除術から肝切除術に至るまで様々な手術を腹腔鏡下に施行している。さらに、当院にはダビンチが導入されているため、消化器外科領域にもロボット手術を開始すべく準備を進めている。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土
9:00-13:00 外来	○	○	○	○	○	○
14:00-17:30 外来	○	○	○	○	○	
9:00-17:30 手術	○	○	○	○	○	
9:00-13:00 手術	○	○	○	○	○	○(第2,4)
10:00-11:00 外科合同回診	○	○	○	○	○	○
8:00-8:30 研修医ミニカンファレンス	○	○	○	○	○	
8:30-9:00外科合同カンファレンス		○			○(第1,3,5)	
8:20-9:00他職種合同カンファレンス					○(第2,4)	
8:30-9:00消化器、病理、腫瘍内科、外科合同カンサーボード				○		
17:30-18:00消化器・外科症例検討会	○(第2,4)					
17:30-19:30外科術前検討会	○					
19:30-20:30M&Mカンファレンス	○(第4)					
18:00-19:00乳癌カンサーボード				○(第4)		
18:00-19:00肺癌カンサーボード			○(第3)			
7:30-8:30抄読会						○(第1,3,5)

【連携施設紹介:38. 湘南東部総合病院】

(<http://fureai-g.or.jp/tobu/>) 連携施設担当者名：櫻井 嘉彦



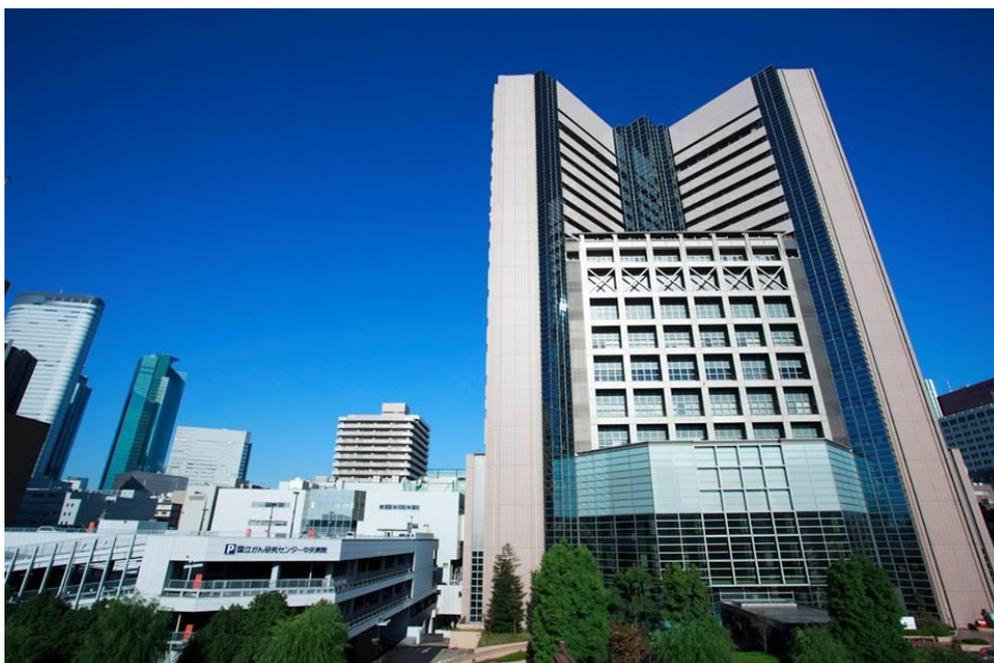
当院は H12 年開設の比較的新しい病院で、茅ヶ崎市・寒川町の急性期医療を担っています。病床数は 273 床、うち外科は一般・消化器、乳腺、大血管・末梢血管を中心に 5 名のスタッフで約 30 床を担当しています。外科の手術症例はここ数年 360～400 件前後で推移していますが、胃癌・大腸癌などの消化管悪性腫瘍手術が増加傾向です。最近では腹腔鏡手術が増加しており、腹部救急疾患に対する緊急手術もあります。外科指導医・専門医、消化器外科指導医・専門医、消化器内視鏡指導医・専門医が常勤しており、開腹手術から腹腔鏡手術の基本手技の研修が十分に受けられると考えます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-9:00 病棟回診、病棟カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○				
8:00-17:30 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-16:30 外来	○		○		○	○	
17:00- 消化器クラスターカンファレンス					○		
9:00-16:00 内視鏡		○		○	○		
13:00- 手術		○			○		

【連携施設紹介:39. 国立がん研究センター中央病院】

(<http://www.ncc.go.jp/jp>) 連携施設担当者名：片井 均



国立がん研究センター中央病院は、幅広い知識と技術を習得した腫瘍専門医の育成を目指しています。呼吸器外科・食道外科・胃外科・大腸外科・肝胆膵外科・乳腺外科の6診療科のうち1コースを選択しての研修や、複数診療科での研修、関連部門（外科病理等）での研修も調整が可能です。世界最高水準のがん診療・研究環境・教育環境を整えた当センターで、がん医療の専門医への確かな一歩を踏み出してください。

【週間予定】

月	火	水	木	金	土	日
7:00-大腸癌MD Tプレカンファレンス	7:15-大腸癌MD Tカンファレンス	7:00-大腸癌術 前カンファレンス		7:15 胃がん術前カン ファレンス		
7:30-肝胆膵外 科症例検討会	7:40-乳腺外科 抄読会	7:15-肝胆膵疾 患症例検討会		7:30 呼吸器外科術前 術後 カンファレンス		
				7:30 肝胆膵外科症例 検討会		
回診(各科7:30~8:30)						
8:30-17:15 午前・午後 外来						
9:00- 手術						
	17:00-外科合同 カンファレンス	17:00-乳腺術後 カンファレンス		15:30 大腸入院症例検 討会・抄読会		
	18:15-胃癌カン ファレンス	18:00 食道カンファレン ス	17:00 肝胆膵外科・内 科合同 カンファレンス	16:00 大腸癌新患手術 症例 カンファレンス		
18:00-乳腺術前 カンファレンス	18:30-大腸癌カ ンファレンス	18:00 胃マイクロデモ	18:00 肝胆膵病理カン ファレンス			
	19:00-胃外科抄 読会	18:30/19:00 乳腺月末カンファ レンス/乳腺病 理カンファレンス				

【連携施設紹介:40. 国立がん研究センター東病院】

(<http://www.ncc.go.jp/jp/index.html>) 連携施設担当者名：北條 隆



1992年に千葉県、柏の葉に発足したがん研究センター東病院。つくばエクスプレス（TX）の利用で都心から45分の地にあります。当院の研修プログラムは、がんに対する外科治療の中核を担うべき人材育成を目指しています。臓器別にはなりますが、さまざまな外科領域に必要とされる技術や考え方を習得するために、多数の症例を短期間に集中的に学びます。当プログラムの最大の特徴は、研修医の自主性や学習意欲を重視し、自分の研修したい科を好きな期間研修することが可能であることです。「求めよ、さらば与えられん！」

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:50-9:00 病棟業務							
8:00-8:30 抄読会・勉強会							
8:45- 手術							
17:00- 病棟カンファレンス							
17:30- 画像・術前カンファレンス							
18:00- 内科外科放射線科形成合同カンファレンス(隔週)							
9:00- 処置外来							
13:00- 処置外来							

【連携施設紹介:41. 静岡県立がんセンター】

(<http://www.scchr.jp/>) 連携施設担当者名：坪佐 恭宏



2002年の開院以来、患者さんの視点の重視を基本理念にがん診療を行なっております。

本プログラムに関連する手術数は消化管、呼吸器、乳腺を合わせて年間約 2200 例で、専門研修指導医数は 21 人と充実しています。また胸腔鏡および腹腔鏡を含む内視鏡手術数も年々増加しており、特にロボット支援手術は早くから導入しており全国でも屈指の手術数となっています。全国各地から外科レジデントとして若手外科医が集まる施設でもあり切磋琢磨できる環境です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 抄読会、勉強会							
8:00-8:30 朝回診							
9:00-10:00 病棟業務							
9:00- 16:30手術							
13:00-16:30 手術							
16:30-17.30 夕回診							
18:00- 合同カンファレンス							

【連携施設紹介:42. 東京医大八王子医療センター】

(<http://hachioji.tokyo-med.ac.jp>) 連携施設担当者名：河地 茂行



東京医科大学八王子医療センターは、東京医科大学附属病院の一つであり、大学病院として肝・腎移植医療などの先進医療を手がけるとともに、南多摩医療圏の地域医療を支える中心的な病院です。連携の中核となる消化器外科・移植外科はセンター唯一の独立した教室で、独自の医局員を持ち、高難度～低侵襲手術まで患者様に最適な外科診療を提供しています。消化器外科のみならず腎移植・腎不全外科まで、定時手術だけでなく多数の緊急手術まで、幅広い外科学が学べる診療科です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土 (1, 3, 5週)	日
7:45-8:00 抄読会					○		
8:00-9:00 朝カンファレンス(放科合同)		○			○		
9:00-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 午前外来(2診体制)	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○	○	
16:00-17:30 総回診					○		
18:00-19:30 内科合同ガンファ		○					
8:00-9:00 移植カンファレンス	○						

【連携施設紹介:43. 国立成育医療研究センター】

(<http://www.ncchd.go.jp/>) 連携施設担当者名：藤野 明浩



国立成育医療研究センター病院は、日本で最大規模の小児・周産期・母性医療を専門とする唯一の国立高度専門医療センターです。

外科では、国内有数の手術症例数を誇っており、特に小児固形腫瘍、新生児外科疾患においては国内をリードしております。また移植外科、小児心臓血管外科症例数は国内トップを誇り、特に小児肝移植症例数ならびに治療成績は世界をリードしております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会					○		
8:00-9:00 朝カンファレンス	○						
9:00-11:00 病棟業務		○		○	○		
10:00-12:00 午前外来	○		○				
9:00- 手術	○		○	○	○		
18:00- tumor board				○			
17:30- 周産期カンファレンス	○						
17:00- 放射線診断合同カンファレンス		○					
17:00- 病棟・外来症例カンファレンス			○		○		

【連携施設紹介:44.】

(<http://www.byouin.metro.tokyo.jp/shouni/>) 連携施設担当者名：廣部 誠一



本院は小児の専門、急性期医療を提供しています。外科系は小児外科（消化器外科、呼吸器外科）、心臓血管外科、脳神経外科などがあり、年間手術件数は外科系全体で 3,543 件、小児外科は 997 件です。

小児外科は、お子さんの成長を考え、治療後何十年にもわたる生活を保障できる手術を考慮する必要があります。しかし、基本技術は一般成人外科と共通しており、一般外科の基本技術を身につけることが必要不可欠です。外科専修医として外科の基本技術の研修をされ、さらに小児の外科治療の世界にも興味がある若者に小児病院の世界を経験していただく機会がもてればと希望します。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:0-9:00 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○	○	○		○		
17:00- 夕回診		○	○		○		
17:30- tomor board				○			
17:30- 周産期カンファレンス	○						

【連携施設紹介:45. 前田病院】

(<http://maeda-hospital.or.jp/about.html>) 連携施設担当者名：岩郷 俊幸



赤坂見附前田病院は祖父友助が 1927 年（昭和 2 年）に『前田外科病院』として港区伝馬町(現在の元赤坂)に開設しました。その後、二代目 昭二、三代目 京助と継承し、1998 年（平成 10 年）に前田病院と名称を変更しました。2007 年（平成 19 年）10 月創立 80 周年を迎えました。当病院は外科・内科・整形外科、リハビリテーション科を中心に人間ドックによる健診から入院を含めた手術加療、そしてリハビリテーションによる術後のケアまで行うことを目的としています。早期癌に対する内視鏡治療、腹腔鏡を含めた消化器手術を年間 100 件程度行っています。また骨折をメインとした整形外科手術も年間 200 件程度行い、昨年新設したリハビリテーション施設で術後のリハビリテーションを行っています。関連病院としての役割と認識しつつ更なる進展に鋭意致します。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00 朝カンファレンス			○				
8:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00- 手術			○	○	○		
15:30-16:30 総回診			○				

【連携施設紹介:46. 山梨県立中央病院】

(<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>) 連携施設担当者名：後藤 太一郎



山梨県の基幹病院として、各診療分野において高度専門的医療を行っている。
また、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、通院加療がんセンターやゲノム解析センターを有し、公的医療機関でなければ対応困難な高度、特殊、先駆的な医療を実施しており、山梨県における医療水準の向上に努め、県民の健康維持、増進に寄与している。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:00-8:30 抄読会			○				
8:30-12:00 外来		○		○			
8:30-17:00 手術	○		○		○		
12:00-17:00 病棟業務		○		○			
17:00-18:00 病理カンファレンス		○					
17:00-18:00 遺伝子研究カンファレンス				○			
17:00-18:00 放射線診断カンファレンス					○		

【連携施設紹介:47. 山本醫院】

(<http://www.0849432777.com>) 連携施設担当者名：山本 裕



当院は、日帰り手術に特化した独立型無床診療所で、在籍する医師は1名です。連日3~5件、年間約1000件の手術を行い、下肢静脈瘤（血管内レーザー治療）や鼠径ヘルニア（メッシュ法）、内痔核（ALTAによる硬化療法）等を対象疾患にしています。麻酔法は、静脈麻酔+低濃度局所浸潤麻酔を基本とし、患者は手術当日の午後來院し、周術期経過に問題なければ帰宅して頂きます。帰宅の可否評価は「日帰り麻酔の帰宅基準」を参考にしています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 内視鏡検査(上部消化管)又は内痔核硬化療法	○	○	○		○	○	
9:00-11:30 午前外来	○	○	○		○	○	
11:30-12:00 内視鏡検査(上・下部内視鏡検査)	○	○	○		○	○	
12:00-17:00 手術	○	○	○		○	○	
17:00-18:30 午後外来	○	○	○		○	○	

【連携施設紹介:48. 榊原記念病院】

(<http://www.hospital.heart.or.jp>) 連携施設担当者名：高梨 秀一郎



当院は、昭和 52 年 11 月、我が国心臓外科のパイオニアの一人である故 榊原 仟 東京女子医科大学 教授が循環器専門病院として渋谷区代々木に設立したことに始まり、平成 15 年 12 月には現在の府中市に循環器医療と救急医療を主とした専門病院として新築・移転しました。心臓血管外科手術においては先天性、成人、末梢血管と年間 1700 例近い手術実績があります。こうした手術症例数の多い病院で充実した研修が行えるものと考えております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 朝カンファレンス 回診	○	○	○	○	○		
8:00-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 外来	○	○	○	○	○		
9:00-手術	○	○	○	○	○		
18:00-循環器科、心臓血管外科手術カンファレンス		○					
7:30-8:00 抄読会、勉強会						○	

【連携施設紹介:49. 成田富里徳洲会病院】

([http:// www.naritatomisato.jp/](http://www.naritatomisato.jp/)) 連携施設担当者名：白部 多可史



当院は 2015 年 9 月にオープンした 285 床の急性期病院です。開院 1 年間の救急車受け入れ台数 4211 台、外科手術件数 373 件（全麻 329 件・鏡視下 240 件）と順調なスタートを切りました。低侵襲手術に力を入れており食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌は原則内視鏡外科手術で行います。一方、骨盤内臓器全摘術 3 例・左上腹部内蔵全摘 1 例と高度進行癌に対する外科手術にも力を入れています。現在の後期研修医は 1 年間で 148 例の鏡視下手術を含む 212 例の術者を経験しています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 入院患者カンファレンス	○		○		○		
17:00-18:00 手術症例カンファレンス			○		○		
8:00-9:30 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:30-17:00 手術	○	○					
13:00-17:00 手術			○	○			
9:30-12:00 外来			○	○			
16:00-17:00 病理・内科・外科合同カンファレンス					○		

【連携施設紹介:50. 化学療法研究所附属病院】

([http:// www.kaken-hp.or.jp/](http://www.kaken-hp.or.jp/)) 連携施設担当者名：板野 理



都内からアクセスがよい立地、約 7000 坪の敷地に急性期から回復期・慢性期とそれぞれの療養環境が整備され、救急告示病院としての機能を果たしています。

消化器系領域の中でも特に肝・胆・膵および大腸・肛門領域においては経験豊かな医師の指導が受けられます。内視鏡術をはじめ、化学療法、術後のリハビリテーション介入など、チーム医療を実践しながら治療にあたっています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 消化器外科カンファレンス			○				
8:30-17:30 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○	○	○		
9:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
13:30-17:30 午後外来			○			○	
8:45-9:15 総回診	○		○	○	○	○	
16:00-17:00 消化器外科・一般外科カンファレンス			○				
13:00-1400 病理カンファレンス						○	
14:00-15:00 多職種カンファレンス	○						

【連携施設紹介:51. 横浜市立市民病院】

(<http://yokohama-shiminhosp.jp/>) 連携施設担当者名：吉津 晃



当科では、原発性肺癌・転移性肺腫瘍・気胸や縦隔腫瘍・膿胸・炎症性疾患、三次救急病院として外傷や特発性血気胸などの疾患について対応し、手術は200件/年以上になります。地域がん診療連携拠点病院であり、胸部悪性疾患の手術数が多く JCOG などに所属し新しい治療の開発に取り組んでいます。

【週間予定】

消化器	月	火	水	木	金
午前	術後カンファレンス 手術 病棟処置	手術 病棟処置	術前カンファレンス 部長回診 病棟処置	手術 病棟処置	手術 病棟処置
午後	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診
その他					

IBD	月	火	水	木	金
午前	術後カンファレンス 病棟業務	病棟業務	術前カンファレンス 部長回診	手術	手術
午後	病棟業務 術前カンファレンス 準備	病棟業務 術前カンファレンス 準備	手術	病棟業務	病棟業務
その他					

乳腺	月	火	水	木	金
午前	術後カンファレンス 病棟業務 または手術	手術	術前カンファレンス 外来	手術	手術
午後	病棟業務 または手術 病棟回診	手術	病棟業務 病棟回診	手術または 化学療法 外来 病棟回診	病棟業務 病棟回診
その他					

心血管	月	火	水	木	金
午前	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	手術 病棟加療・検査	手術 病棟加療	手術 病棟加療
午後	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	病棟カンファレンス 術前カンファレンス
その他	循環器内科とのカンファレンス	術後管理 病棟加療			

呼吸器	月	火	水	木	金
午前	手術 病棟処置	病棟処置 外来	手術 病棟処置	手術 病棟処置	病棟処置 外来
午後	手術 カンファレンス	病棟処置 カンファレンス	手術 病棟処置	手術 病棟処置	検査
その他			病理カンファレンス		

【連携施設紹介:52. 柏厚生総合病院】

([http:// www.kashiwakousei.or.jp/](http://www.kashiwakousei.or.jp/)) 連携施設担当者名：諏訪 達志



当院はがん診療連携協力病院であり、高度急性期病院として年間 1000 件を超える外科領域の NCD 登録手術数を有します。外科スタッフは 9 名で、上部消化管、肝胆膵、下部消化管、血管、乳腺甲状腺の 5 領域に分かれて専門制を敷いており、各領域の指導医・専門医から手術を中心に質の高い先進的な指導を行います。高難易度手術から低侵襲手術まで幅広い研修が受けられるように心がけています。

【週間予定】

AMG 外科専門研修プログラム・柏厚生総合病院

週間スケジュール(後期研修医・外科専攻医研修プログラム)

	朝	午前	午後	夜間	コメント
月		手術・病棟	手術・ER・下部消化管カンファレンス	救急(輪番制)	
火	病棟カンファレンス	手術・病棟	手術・下部内視鏡検査		
水		手術・上部内視鏡検査	手術・下部内視鏡検査		
木		手術・病棟	手術・ER・上部消化管カンファレンス		
金		手術・上部内視鏡検査	手術・ER・肝胆膵カンファレンス		
土	手術カンファレンス	病棟ラウンド・外来			(抄読会: 月1回開催)